

山梨県北巨摩郡須玉町

五反田（堰下西）遺跡
二ツ木遺跡（第1次・2次・3次）
大 免 遺 跡

—— 帝国石油株式会社 天然ガスパイプライン（甲府ライン）建設工事に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書 ——

2002

須 玉 町 教 育 委 員 会
特 定 非 営 利 活 動 法 人
文 化 資 源 活 用 協 会

山梨県北巨摩郡須玉町

五反田（堰下西）遺跡
二ツ木遺跡（第1次・2次・3次）
大 免 遺 跡

—— 帝国石油株式会社 天然ガスパイプライン（甲府ライン）建設工事に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書 ——

2002

須 玉 町 教 育 委 員 会
特 定 非 営 利 活 動 法 人
文 化 資 源 活 用 協 会

序

本報告書は、天然ガスパイプライン（甲府ライン）建設工事に伴い、発掘調査の成果をまとめたものである。本遺跡の所在する須玉町は、豊かな気候、風土に恵まれ、これまでも各地で人々の永い歴史の跡が発掘・調査されてきました。本調査によってまた新たに縄文時代や平安時代から中世・近世にわたる貴重な資料を得ることができました。最後になりましたが調査にあたってご指導御協力を賜りました関係者並びに調査・整理に従事された方々に厚くお礼申し上げます。

平成 14 年 11 月

須玉町教育委員会
教育長 藤巻宣夫

例 言

1. 本書は、帝国石油株式会社天然ガスパイプライン建設工事に伴う五反田（堰下西）遺跡、二ツ木（第 1 次・2 次・3 次）遺跡、大免遺跡の文化財発掘調査報告書である。
2. 遺跡は、山梨県北巨摩郡須玉町五反田（堰下西）遺跡 （須玉町若神子大豆生田 1102-1 番地ほか）、二ツ木遺跡（須玉町大豆生田 793-1 番地ほか）、大免遺跡（須玉町大豆生田 850-1 番地ほか）に所在する。
3. 試掘は、須玉町教育委員会が行い、本調査・遺物整理・報告書は、帝国石油株式会社の委託により須玉町教育委員会が調査主体となり、その指導のもと特定非営利活動法人文化資源活用協会が行った。
4. 本書の執筆、編集は山路恭之助、深沢裕三が行い、DTP 編集は、浅川佐知子が行った。
5. 本調査の出土品・諸記録は須玉町教育委員会が保管している。
6. 発掘調査組織
調査主体 須玉町教育委員会 教育長 藤巻宣夫
調査担当 須玉町教育委員会 山路恭之助
調査委員 深沢裕三
7. 遺物の復元、接合、注記、拓影は、岡本美恵子、市川道夫、市川博子、が行い実測・トレース及び図面作成は 岡本美恵子、小尾裕美子、浅川佐知子、三井ちぐさが行った。
8. 発掘調査参加者
浅川英光、伏見徳芳、角井保之助、深沢照明、深沢直江、小沢久恵、八巻まさ子、石川モト子、宮崎夏子、宮沢今朝子、花輪照子、土屋節子

凡 例

1. 本書で用いた地図は、国土交通省国土地理院の数値 200,000（甲府 1/200,000 平成 9 年 7 月発行）及び、数値地図 25,000（若神子 1/25,000 平成 9 年 10 月 1 日発行）である。
2. 実測図の土器・陶器断面が黒塗りは須恵器、それ以外の白抜きは土器・土師器などである。
3. 遺構及び遺物の挿図中の縮尺は下記のとおりである。
遺構全体図 1/80 1/1,000 遺物実測図 土器 1/2 石器 1/2 1/4
磁器・陶器 1/2 1/1 その他 1/2

目 次

序

例言

目次

第 1 章 調査に至る経緯と経過..... 1

第 2 章 五反田（堰下西）遺跡の遺構と遺物..... 3

第 3 章 ニツ木（第 1 次・2 次・3 次）遺跡の遺構と遺物..... 4

第 4 章 大免遺跡の遺構と遺物..... 5

挿図目次

第 1 図 遺跡位置図..... 1

第 2 図 遺跡と文化財..... 2

第 3 図 五反田遺跡全体図 1.....7.8

第 4 図 五反田遺跡全体図 2.....9.10

第 5 図 ニツ木遺跡第 1 次全体図 1..... 11.12

第 6 図 ニツ木遺跡第 1 次全体図 2..... 13.14

第 7 図 ニツ木遺跡第 2 次全体図..... 13.14

第 8 図 ニツ木遺跡第 3 次全体図..... 13.14

第 9 図 大免遺跡全体図 1..... 15.16

第10図 大免遺跡全体図 2..... 17.18

第11図 大免遺跡特殊遺構.....19

第12図 五反田（堰下西）遺跡 1 号住出土遺物.....20

第13図 五反田（堰下西）遺跡 2 号住出土遺物.....20

第14図 五反田（堰下西）遺跡 3 号住出土遺物.....21

第15図 五反田（堰下西）遺跡遺構外出土遺物.....21

第 16 図 五反田（堰下西）遺跡遺構外出土遺物.....22

第 17 図 五反田（堰下西）遺跡遺構外出土遺物.....23

第 18 図 五反田（堰下西）遺跡遺構外出土遺物..... 24

第 19 図 五反田（堰下西）遺跡遺構外出土遺物..... 25

第 20 図 ニツ木遺跡第 1 次出土遺物.....26

第 21 図 ニツ木遺跡第 2 次トレンチ 1 出土遺物..... 27

第 22 図 ニツ木遺跡第 2 次トレンチ 2 出土遺物..... 27

第 23 図 ニツ木遺跡第 2 次トレンチ 3 出土遺物..... 27

第 24 図 ニツ木遺跡第 2 次トレンチ 4 出土遺物..... 27

第 25 図 ニツ木遺跡第 2 次立坑 1 出土遺物.....28

第 26 図 ニツ木遺跡第 2 次立坑 2 出土遺物..... 28

第 27 図 ニツ木遺跡第 3 次トレンチ 1 出土遺物..... 29

第 28 図 ニツ木遺跡第 3 次トレンチ 2 出土遺物.....29

第 29 図 ニツ木遺跡第 3 次トレンチ 3 出土遺物.....30

第 30 図 大免遺跡出土遺物.....31

第 31 図 大免遺跡出土遺物.....32

第 32 図 大免遺跡出土遺物..... 33

第 33 図 大免遺跡特殊遺構出土遺物..... 34

表目次

表 1-1 五反田（堰下西）遺跡出土遺物観察表.....35

表 1-2 五反田（堰下西）遺跡出土遺物観察表.....36

表 2 ニツ木遺跡第 1 次出土遺物観察表.....36

表 3 ニツ木遺跡第 2 次出土遺物観察表.....37

表 4 ニツ木遺跡第 3 次出土遺物観察表.....37

表 5 大免遺跡出土遺物観察表.....38

図版目次

図版 1五反田（堰下西）遺跡 1 号・2 号住居址・発掘調査風景

図版 2ニツ木遺跡第 1 次発掘風景 大免遺跡 発掘風景 大免遺跡特殊遺構

図版 3五反田（堰下西）遺跡 1 号・2 号住出土遺物

図版 4五反田（堰下西）遺跡 3 号住・遺構外出土遺物

図版 5五反田（堰下西）遺跡遺構外出土遺物

図版 6五反田（堰下西）遺跡遺構外出土遺物

図版 7五反田（堰下西）遺跡遺構外出土遺物

図版 8五反田（堰下西）遺跡遺構外出土遺物

図版 9ニツ木遺跡第 1 次出土遺物

図版 10.....ニツ木遺跡第 2 トレンチ 1 ～ 4 出土遺物

図版 11ニツ木遺跡第 2 次立坑 1 ・2 出土遺物

図版 12ニツ木遺跡第 3 次トレンチ 1 ・2 出土遺物

図版 13.....ニツ木遺跡第 3 次トレンチ 3 次出土遺物

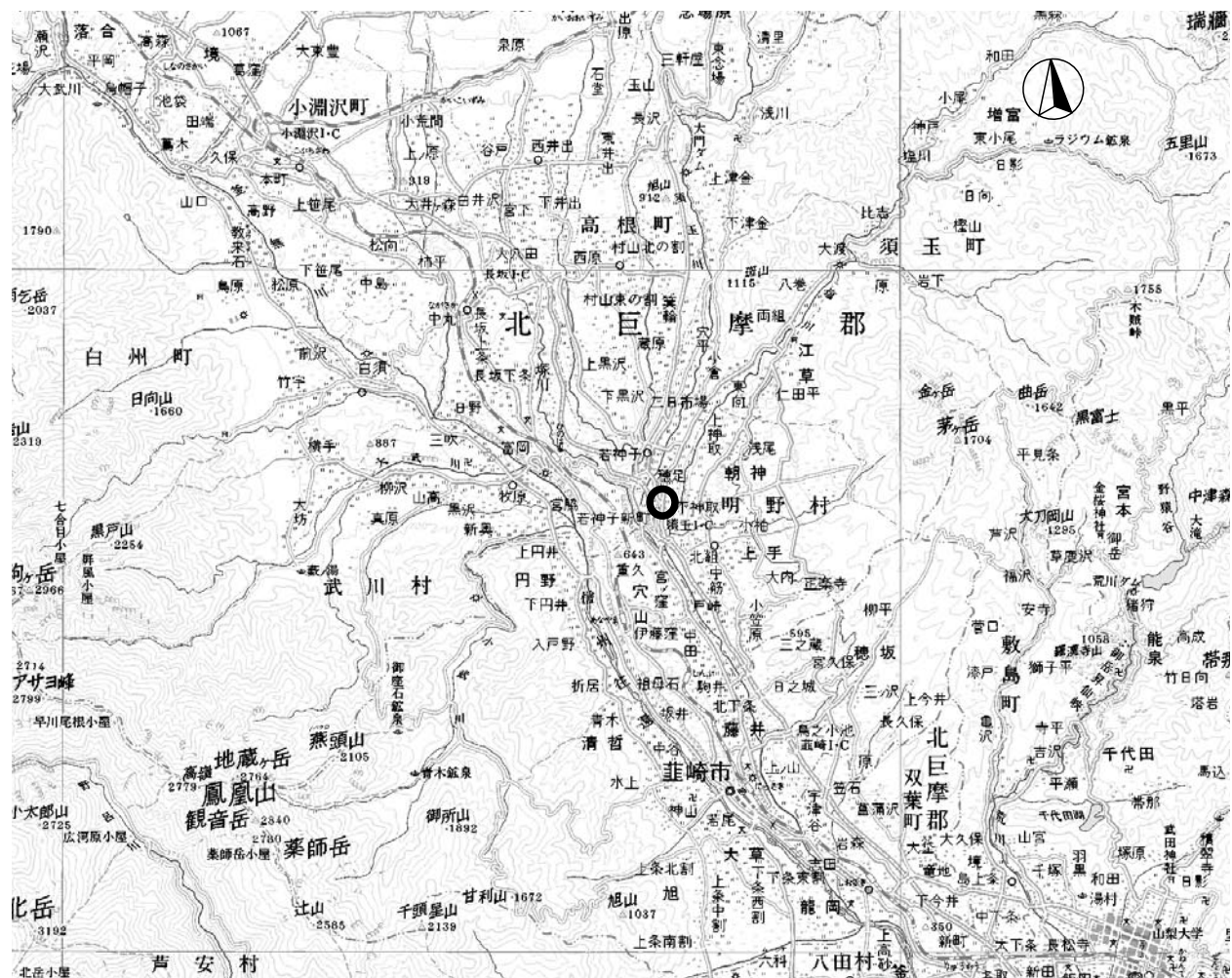
図版 14大免遺跡出土遺物

図版 15大免遺跡出土遺物

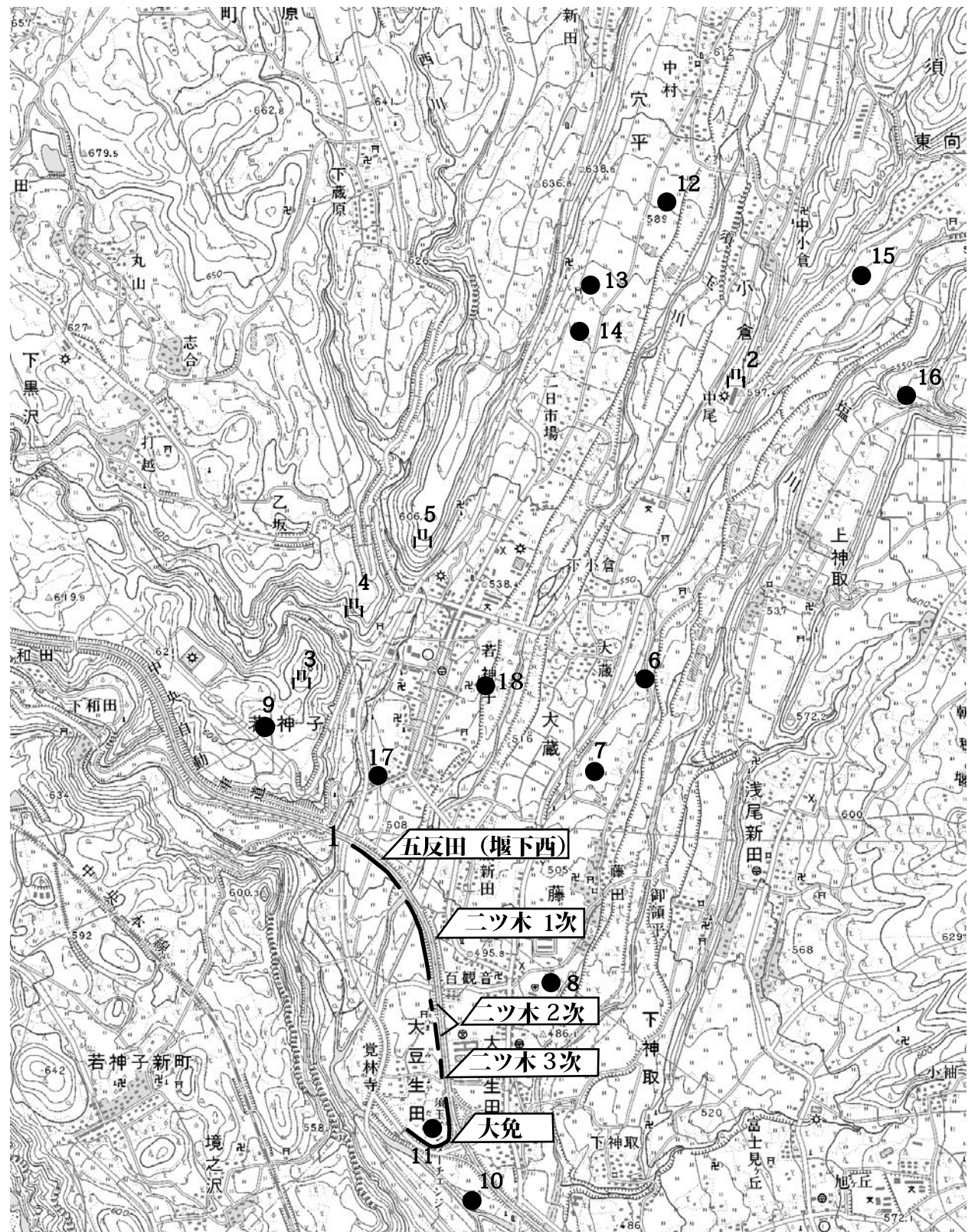
第 1 章 調査に至る経緯と経過

帝国石油株式会社では、須玉町内を走る中央自動車道の側道に天然ガスパイプライン建設を決定されたが、当該地が平成 3 年度実施した町内遺跡分布調査による衆知の埋蔵文化財包蔵地であるところから、須玉町教育委員会は、五反田（堰下西）遺跡ほか計 3 箇所における本調査の必要性を指摘し、帝国石油と須玉町教育委員会との間で「五反田（堰下西）遺跡等埋蔵文化財に関する協定書」を交わし、本調査に移行した。パイプ埋設溝幅 1.2m に重機によって、コンクリート・ステコンの順に開削し、須玉町教育委員会調査員の立会いの上、砂利や埋め土を除去した後、遺物包含層を確認した上で、人力による掘削という手順で調査を進めた。

五反田（堰下西）遺跡は、国道 141 号線清里ライン脇から東へ、須玉川右岸に至る 300m までとし、須玉川右岸から町道百観音覚林寺線までの 200m をニツ木遺跡第 1 次、同町道から東へ諏訪神社を挟んで 100m をニツ木遺跡第 2 次とし、ニツ木遺跡第 2 次東端の地点から町道多屋・覚林寺線が通るカルバートまでの 120m を第 3 次として調査した。大免遺跡は、町道多屋の覚林寺線のカルバート端から東へ、中央自動車道下り乗車口へ通ずるカルバートまでの直線約 200m と大きく湾曲して次のカルバートまでの約 170m 間（計 370m）で調査が行われた。発掘調査は、平成 12 年 12 月 13 日に始まり、平成 13 年 3 月 30 日まで実施した。調査の結果は、住居址 3 と焼土を伴う特殊集石遺構のほか地境の石列や水路の石列、集石等がある。



第 1 図 遺跡位置図 (1/200,000)



第 2 図 遺跡と文化財 (1/25,000)

1 五反田（堰下西）遺跡、ニツ木遺跡、大免遺跡 2 中尾城 3 若神子南城 4 若神子古城 5 若神子北城
6 塚田遺跡 7 滝下遺跡 8 腰巻・腰巻北遺跡 9 大小久保遺跡 10 多屋前遺跡 11 大豆生田遺跡
12 飯米遺跡 13 蟹坂遺跡 14 宮田・笠張遺跡 15 大木田遺跡 16 下平遺跡 17 五反田遺跡
18 御崎前遺跡

第 2 章 五反田（堰下西）遺跡の遺構と遺物

1 号住居址（第 4 図 図版 1）

須玉川右岸に近いカルバートから 2m 隔てた地点から川寄りへ 4.1m の範囲に踏み固められた床面と 2 ケのピットを伴う遺構を検出した。

出土遺物（第 12 図 図版 3）

縄文土器の深鉢(1)、甲斐型坏片、在地系坏の破片、須恵器、灰釉陶器片等である。住居址北西壁際に 2 ケのピットが検出された。プランは円形でそれぞれ 25 cmが測られ深さは 20 cmと 25 cmである。

2 号住居址（第 4 図 図版 1）

1 号住居址に伴うピットから約 2m 隔てて、2 号住居址が検出された。1 号住居址よりやや狭く 2.8m × 2.1m の円形の範囲で、床面は固くしまっている。壁際に 40 cmの円形で深さ 10 cmのピットが検出された。

出土遺物（第 13 図 図版 3）

床直から胎土緻密で茶褐色の深鉢胴部片（無文）のほか、注口土器（1）、凸部を施した（2）、三つボタン状貼付文（3）、同じ床直から棒状突起を貼付した箱清水式の壺口縁部（4）が出土している。褐色土の三層（中位層）から土師器片、灰釉陶器片も出土している。

3 号住居址（第 4 図）

2 号住居址から 20m 北西の位置から検出された遺構で、縄文時代中期末から後期の遺構と考える。

出土遺物（第 14 図 図版 4）

明褐色土の第 5 層を 40 cm落ち込んだ黒褐色土内から櫛歯状工具による細い沈線文の深鉢片と砂粒子の多い円形刺突文と沈線文による区画文の深鉢片（3.5）、爪形文深鉢片（1）、太い沈線文の深鉢片（2）と粗製土器片が出土している。尚、3 号住から 2m 隔ててピットを 2 検出した。ピット内からも後期初頭の深鉢口縁片（4.6.7）が出土している。

その他の遺構（第 4 図）

1 号住居址から須玉川寄りに 3 ケ所の地境の石列が認められ、3 号住居址から下宿へ通ずるカルバートまでの間に地境と考えられる石列が 7 ケ所認められた。

住居外の出土遺物（第 15 ～ 19 図 図版 4 ～ 8）

縄文時代中期後半の曾利式深鉢片（3.4）、後期初頭の堀ノ内式深鉢片（5.21）、加曾利 B 式深鉢片（9.10.11.20）、加曾利 E 式深鉢片（22）、小型カメ片（17）、浅鉢片（18）、勝坂式深鉢（19）、把手付深鉢の口縁片（27.28）、その他深鉢片（1.2.6 ～ 8.12 ～ 16.23 ～ 26.29.31 ～ 34.36）、注口土器（35）などがある。石器では凹石（37）、丸石（38）などがある。弥生式土器では、壺口唇に刻目文を施した（39）、櫛歯状沈線文の（40）、が出土している。平安時代に比定される土師質土器片（42.43）、須恵器（41）、中世から近世へかけて染付陶器（44.45）が出土した。

第 3 章 ニツ木遺跡の遺構と遺物

第 1 次（第 5 ・ 6 図 図版 2）

鹿島建設株式会社によるコンクリート剥離作業に合せて、須玉川左岸から約 20m 離れた地点から町道で下宿へ通ずるカルバートまでと、カルバート脇から中央道に平行して、百観へぬけるカルバートまでの 200m(実質 190m 余)を調査した結果、地境の石積み 4 ケ所と地境の石列 2 ケ所、堰(水路)の石列 2 ケ所が検出された。

出土遺物（第 20 図 図版 9）

縄文時代の精製土器（1）、弥生時代の条痕文のある土器片（2）、古墳時代後期（鬼高）に比定される遺物（3.4.5）、平安時代の甲斐型土器片、在地系土師器が少量、灯明皿（6.7）を含め黒釉施釉陶器（9）、染付け陶磁器（11.12.13）、古銭の政和通宝（8）、硯（10）が出土した。

第 2 次（第 7 図）

第 1 次調査区から東にトレンチを 3 本、西側にトレンチ 1 本を設定して調査した。諏訪神社の境内下をパイプを通すため東、西に立坑を 1 ケ所ずつ設定して、同時に調査した。須玉商業高校北側へ通ずるカルバート脇から神社へ向って 27m がトレンチ 1、次いで 13.4m がトレンチ 2、立坑まで約 20m がトレンチ 3 とした。立坑は 4m × 4m の菱形。西側は 3m × 6.45m の長方形の立坑と長さ 13m のトレンチ 4 を設定して調査した結果、遺構には当たらなかった。トレンチ内に流出する雪解け水をポンプと人力で排出する仕事と土のう作りで苦労した。

出土遺物（第 21 ～ 26 図 図版 10 ～ 11）

（1）トレンチ 1 ～ 3 上層から手捏ね土器（6）、施釉陶器（4.5）、染付磁器（3）、徳利の口（9）、中層から土師器土器片（1.10）、在地系土師の（6.8）、土師器底部片、白磁、下層から金雲母、白色粒子を含む縄文土器無文帯小片、黒曜石石核、口縁下に稜がある坏口縁片の古墳後期の鬼高式土器片（2）が出土した。

（2）トレンチ 4 擦痕条線文を施した薄い褐色土器片、内外ハケ目の甲斐型カメ片（12）、斜文沈線文のカメ片（11）、施釉陶器、染付陶器が出土している。

（3）立坑 1 縄文時代深鉢胴部無文帯の破片、土偶（14）、長さ 4.5 cm太さ 0.62 cmで骨製の男性性器を形どった骨製品（13）は、祭祀用に使われたものと考えられる。甲斐型及び在地系の土師質土器片（15）、施釉陶磁器片などが出土している。

（4）立坑 2 縄文時代の遺物はなく、石鏃で尖頭部が欠けた小型石鏃（16）、石刃（17）、在地系土師器、白磁、黒釉、施釉陶器の蓋（18.19.20）、灰色施釉陶器片（21）など陶器片が多く現代のものでは、タイル材（22）が出土している。

第 3 次（第 8 図）

第 3 次調査区内第 1 トレンチの東端に中央道下を須玉商業校舎北側へ通ずる町道から約 120m の畑地内 80m にトレンチを 3 本設けた。

第 1 トレンチ 20m、第 2 トレンチ 15m、第 3 トレンチ 12m とした。残る 40m の区域内には、1.5m 方形の坪掘りを 7 ケ所設定し調査したが、遺構の確認はなかった。

出土遺物（第 27 ～ 28 図 図版 12.13）

調査範囲の短い割に遺物の密度は濃く、内容も豊かであった。

（1）トレンチ 1 縄文時代に比定される深鉢の破片は薄手土器の胴部無文帯のもの 4 片のみでほかに平安時代の土師器口縁、高台付底部片（1）、染付陶磁器片、陶器の（2.4）、キセルの雁首（3）、等出土

総数 110 点を数える。

(2) トレンチ 2 細かいハケ目に近い条痕の薄手土器片、粗製土器胴部片には指頭痕が認められ、口唇に刻目を施し、器体外周に平行沈線の壺の小片と、同じく口唇に刻目を施し口縁に櫛歯状細条線文の壺片と、S 字状口縁部片 (9)、深鉢 (8) は弥生時代に比定される。古墳時代に比定されるものには、須恵坏模倣の高坏の頸部 (10)、内外研磨された土師器片がある。平安時代では、削り高台付碗の底部があり中世から近世にかけては染付陶磁器片がある。石器では、尖頭器の完型 (6) と加工途中と思われる黒曜石剥器 (7)、砥石片等がある。出土総数 134 点である。

(3) トレンチ 3 櫛歯状細条線文の深鉢胴部片 (11) は縄文時代晩期～弥生時代のもので、黒褐色で小さな稜を持った土器片 (14) や (13) が古墳時代後期に当り、平安時代の土師質土器、須恵器片、灰釉陶器片と中世から近世にかけて青磁片、施釉陶磁器片 (15) がある。石器では打製石斧 (12) がある。出土総数 140 点である。

(4) 立坑 1～7 縄文土器片無文帯のもの 2 片と平安時代の土師器片 8 片、内黒土器 1、灰釉陶器片 1、近世の施釉陶器片 6 片が出土している。

第 4 章 大免遺跡の遺構と遺物

(第 9・10 図 図版 2)

二ツ木遺跡第 3 次調査区の東、中央道をくぐり須玉商業高等学校グランド脇へ通ずる町道から、中央道下り線乗降車待合所入り口のカルバートまでの直線 210m と、そこから須玉 IC 寄りのカルバートまでの 90m、併せて 300m が調査対象区域である。調査始点は中央道バス降車口カルバート脇に設定し、須玉商業高等学校へ通ずるカルバートへ向かって 61m の地点から地境の石積と暗渠の跡が、次いで 18m 離れ石列と板状コンクリートが埋没されており、20m 離れて幅 3m のコンクリートの U 字溝を検出。水路の脇には、補強の河原石が並ぶ。28m 離れて、幅 30 cm の地境の石列が認められた。次いで、降車用カルバートから須玉 IC に近いカルバートまでの 90m 間からの遺構では後述するが焼土と土師質土器を伴う特殊遺構が検出された。

出土遺物 (第 29～32 図 図版 14.15)

中央道下り線降車口のカルバートから須玉商業高等学校グランド脇へ通ずるカルバートまでの直線 210m 間では、縄文時代の遺物としては、櫛目状沈線文の深鉢片 (1) ほか、すすが付着した深鉢胴部の破片と雲母が目立つ深鉢胴部片の 3 点で、90 点余の遺物の殆どが平安時代から中世～近世に亘るのである。平安時代の遺物では、信州系の内黒土器片で暗文のある (2) と、内黒土器の底部で外面の剥落が著しいもの、暗文はないが底部に糸切り痕が認められる甲斐型土師器 (3)、黒ずんだ赤褐色土の甲斐型カメ小片と、須恵器カメ片 2 点がある。中世～近世では、乳白色釉を施した陶器片、薄茶色の陶器片、茶緑色陶器片、深緑色陶器片と、染付け磁器碗の下部片、同じ染付け磁器の底部片 (4.5)、寛永通宝一枚 (6)、人形 (7) などが出土した。

須玉 IC 寄りのカルバートまでの 90m は、縄文時代中期末、曾利式の籠目文片 (8)、後期～晩期に見られる条痕文の深鉢片、深鉢の底部 (9)、尖端が欠損した小型石鏃 (10)、長さ 4 cm 強の円筒型で孔が完通している土製品 (11) がある。弥生時代では、器面が研磨され、流水文を施した壺の頸部片 (12) と口唇に刻目を施文した壺口縁片 (13)、壺の頸部に櫛歯状工具による細条線文を施した (14) がある。

古墳時代では、須恵器の提瓶か耳付壺の把手部（15）、須恵器の長頸瓶口縁片（16）がある。出土遺物総数200点以上の中で平安時代の遺物が90%を占める。甲斐型土器の坏、皿、甕の破片、小型カメ片、内黒土器片（17）、須恵器甕（18）、坏片（19）、灰釉陶器片（20.21）などがある。中世～近世にかけての遺物には、文字の間に小孔が4ヶ穿かれている北宋銭の熙寧元宝（22）や染付け陶磁器、施釉陶磁器が出土した。

特殊遺構（第11図 図版2）

中央道バス降車口のカルバートから須玉ICよりの約50mの地点から検出された遺構である。道路のステコン約70cm下は、3層からなり、田の耕作土、茶褐色土、包含層の黒褐色土が合せて60cm堆積し、最下層の黒褐色土から炭化物が混ざる焼土が検出された。4ヶの不整形ながら四角に近い石を並べ、これを囲む状態で丸礫がコの字状に並び、一番奥には巨石が古墳の奥壁の如くやゝ斜めに立てられている。

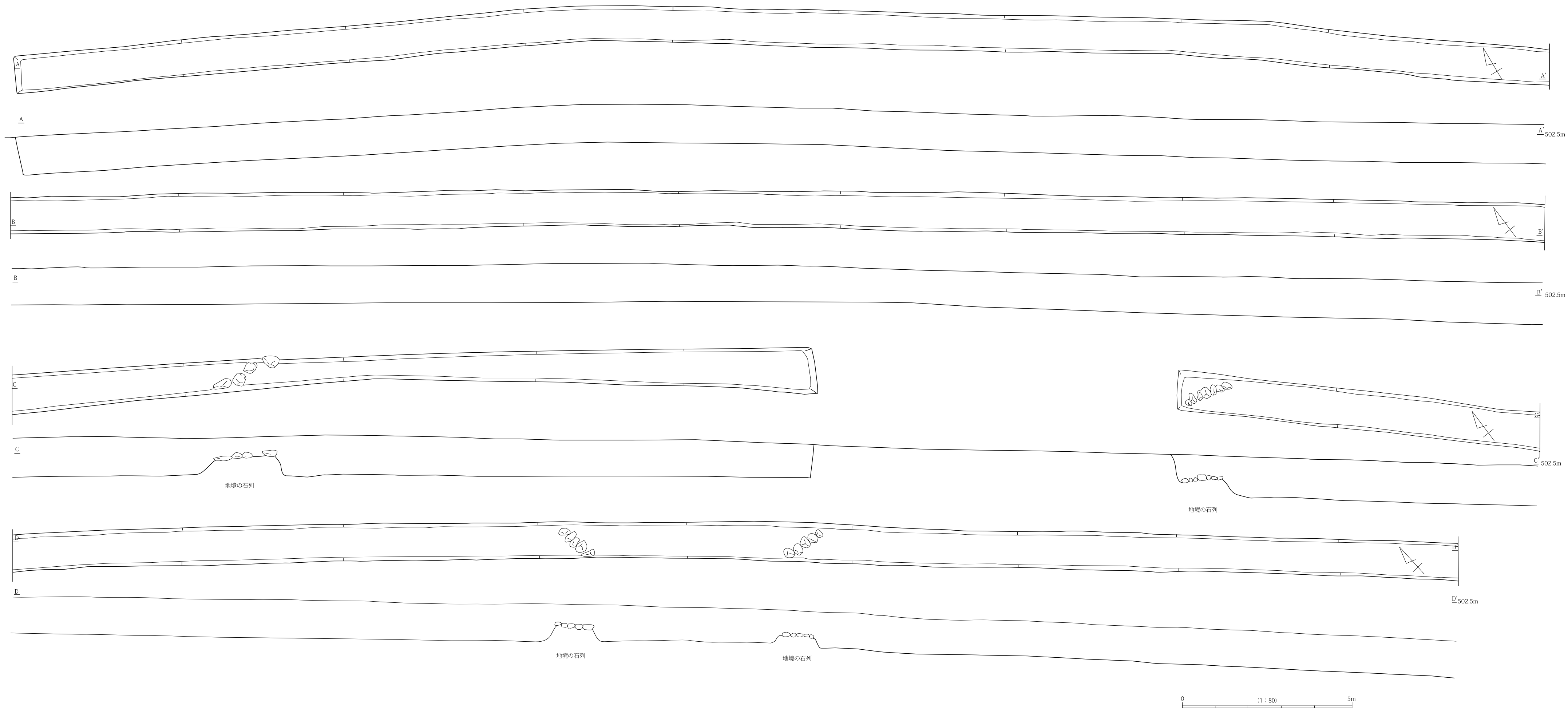
出土遺物（第29図 図版17）

この祭壇状の中央から甲斐型の完型の坏（23）が伏臥状で1ヶと、口縁を欠損した小型甕（24）が出土し、4枚の敷石前の焼土内から須恵器カメ片（写真図版16の右下）が出土した。他に内黒土器片（25）がある。

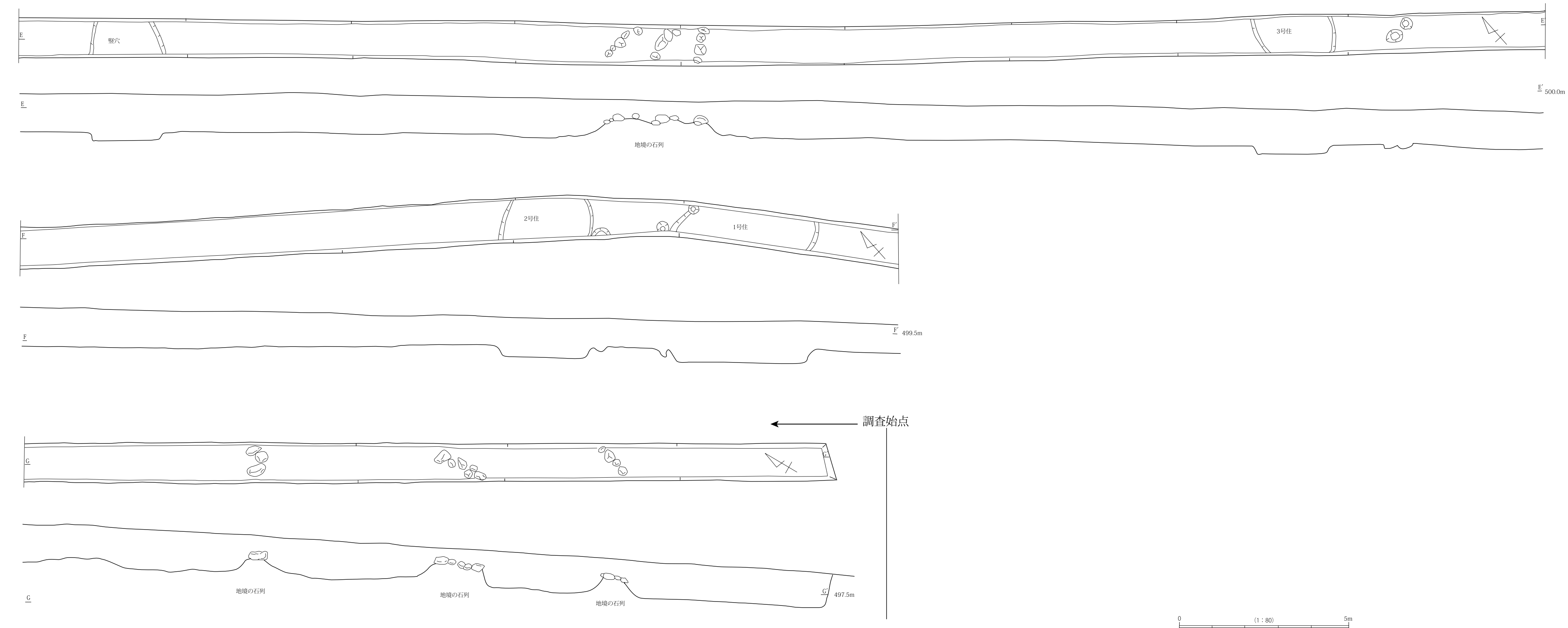
焼土を含む集石遺構は、巨石から4ヶの敷石まで約2mが測られ、焼土が切れた床面から更に約2m間は、住居址の貼床のように踏み固められた面が続く。出土した坏は、ミコミから口唇まで放射状暗文を施し、口縁は、玉縁状で、外面へう削り、底部は糸切り後へう仕上げされている。法量は、口径が11.6cm底径4.3cm、器高4.0cmで底/口比37%が測られる。山梨編年のIX期（10世紀第1四半期）に比定される。特殊遺構の床面が切れた場所は、直径1.1mの水路用コンクリート土管の付設に伴い深さ1.2m以上、幅は4mの範囲が攪乱されている。攪乱から1m離れた黒褐色土内から検出された約1.5mの範囲の集石遺構から土錘状の土製品も出土している。

まとめ

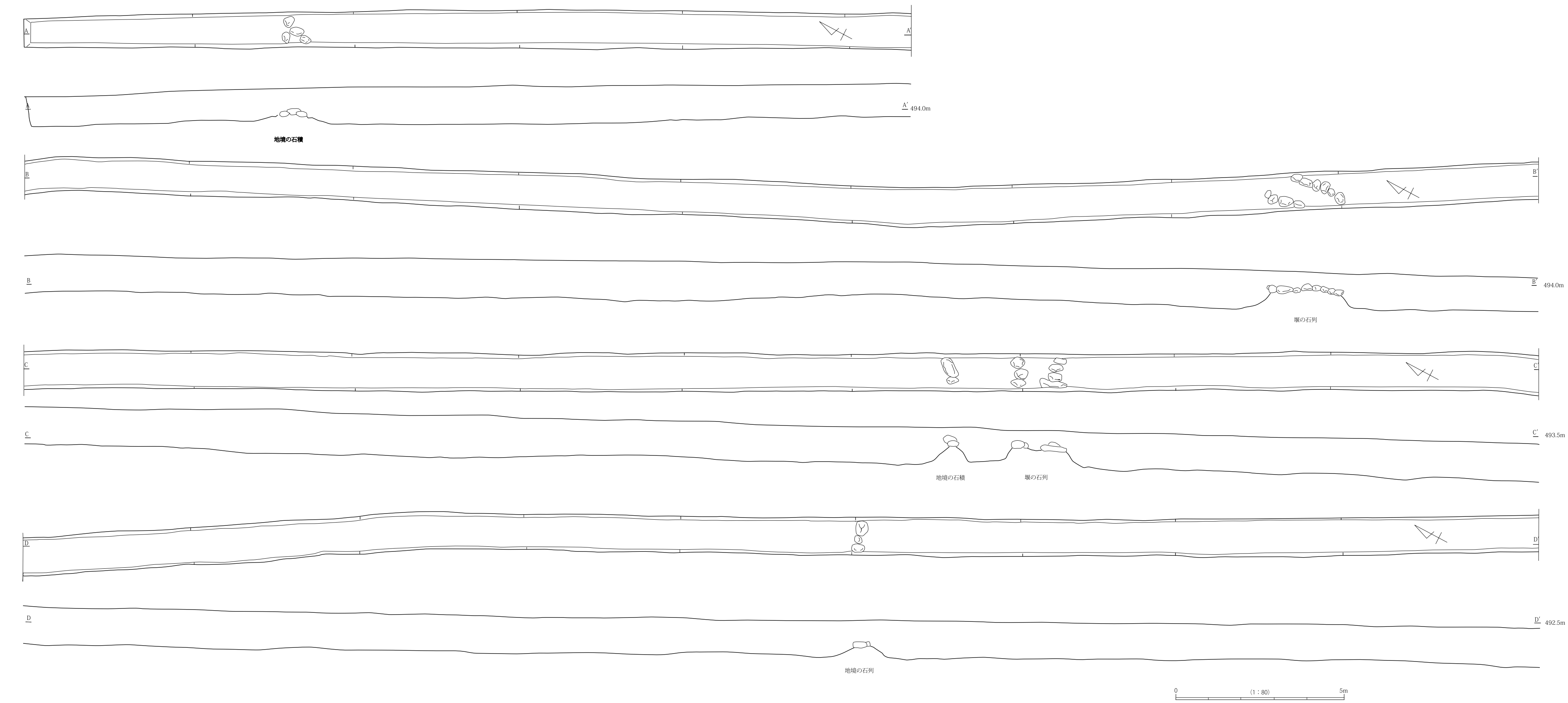
須玉川右岸の五反田（堰下西）遺跡から、一部ながら住居址が3軒検出された。出土遺物から縄文時代後期と平安時代に関わる遺構と思われる。二ツ木遺跡第2次の諏訪神社脇の立坑内から骨で成形されたごく小さい男子性器を形どった遺物が出土している。境内に並べられた道祖神の間に数多くの丸石、石棒があるところから境内を中心に縄文時代の遺構の存在を想定できる。五反田（堰下西）遺跡を右岸に見て南へ流れ下る須玉川が大きく東へ迂曲する大豆生田の地、須玉川左岸の大免遺跡から、平安時代の特殊遺構の骨片を含め貴重な資料を得ることができた。町内に帝国石油株式会社の天然ガスパイプラインが付設される各調査区毎に遺物に於ても縄文時代中期・後期、弥生時代、古墳時代、平安時代、中世、近世に比定される資料を得た事によって今後の調査に大いに役立つものとする。



第 3 図 五反田（堰下西）遺跡 全体図 1



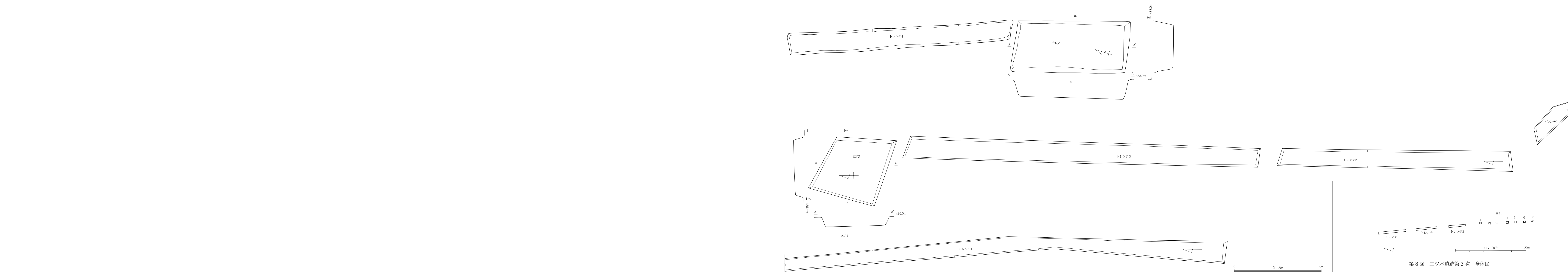
第4図 五反田（堰下西）遺跡 全体図2



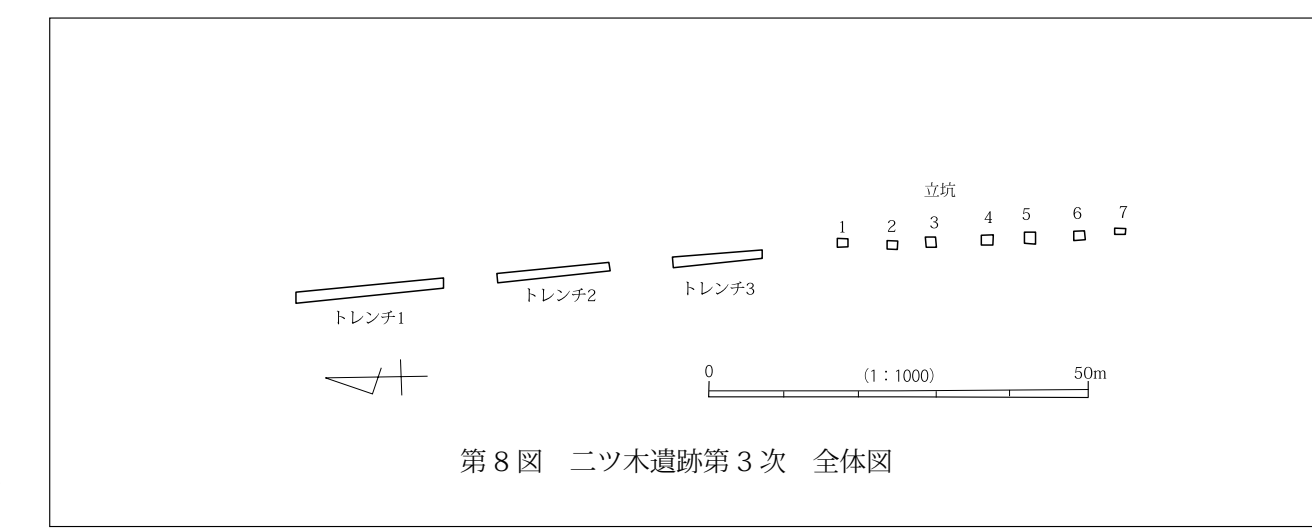
第5図 ニツ木遺跡第1次 全体図1



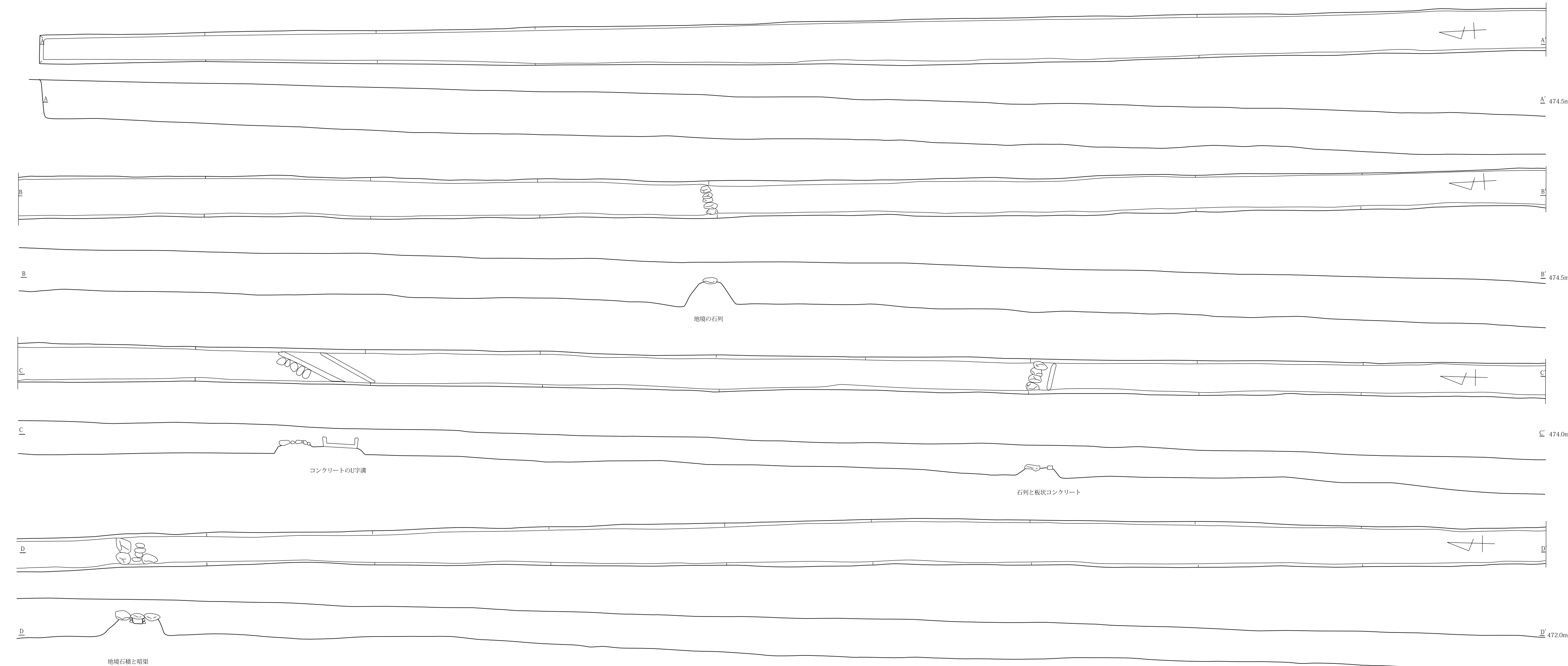
第 6 図 ニツ木遺跡第 1 次 全体図 2



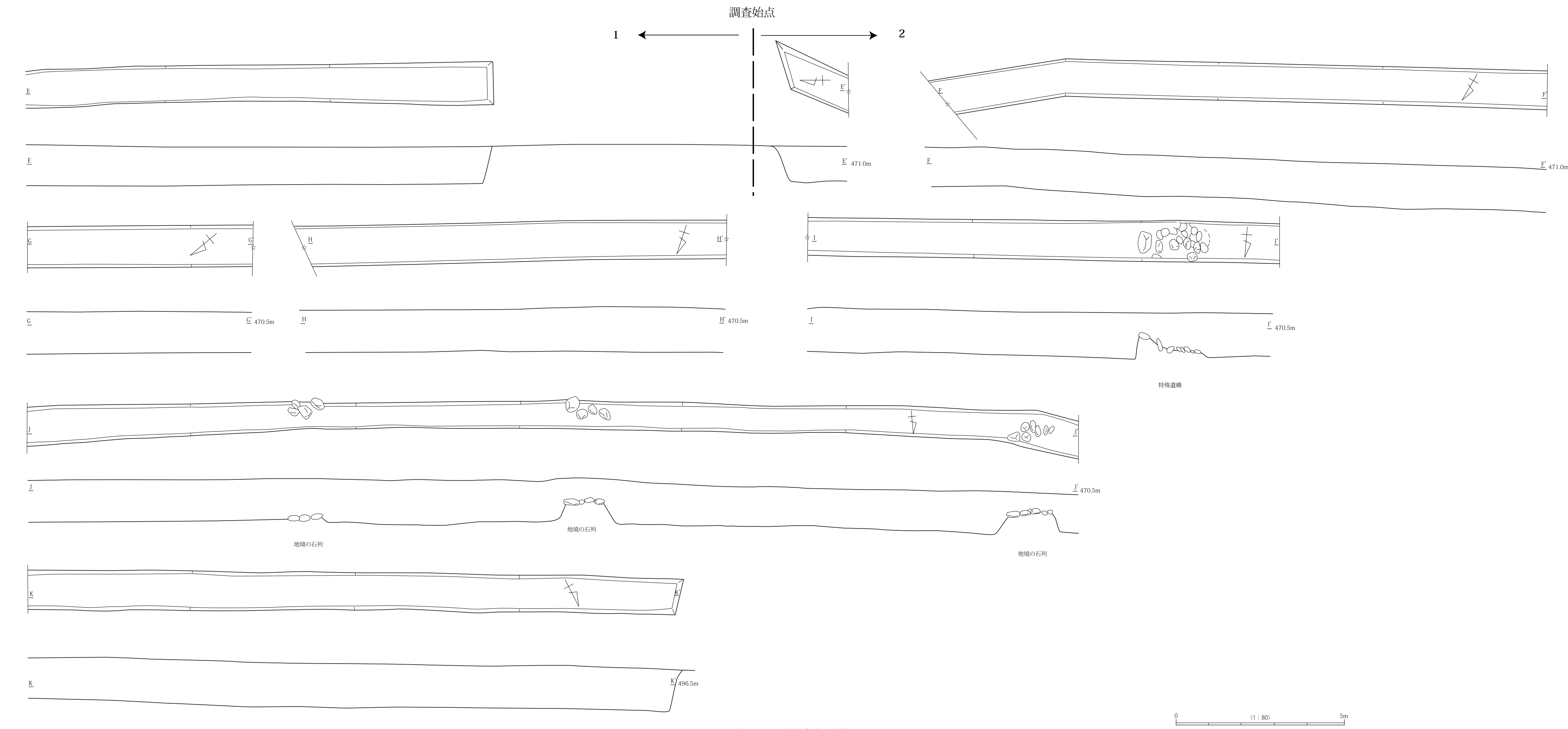
第 7 図 ニツ木遺跡第 2 次 全体図



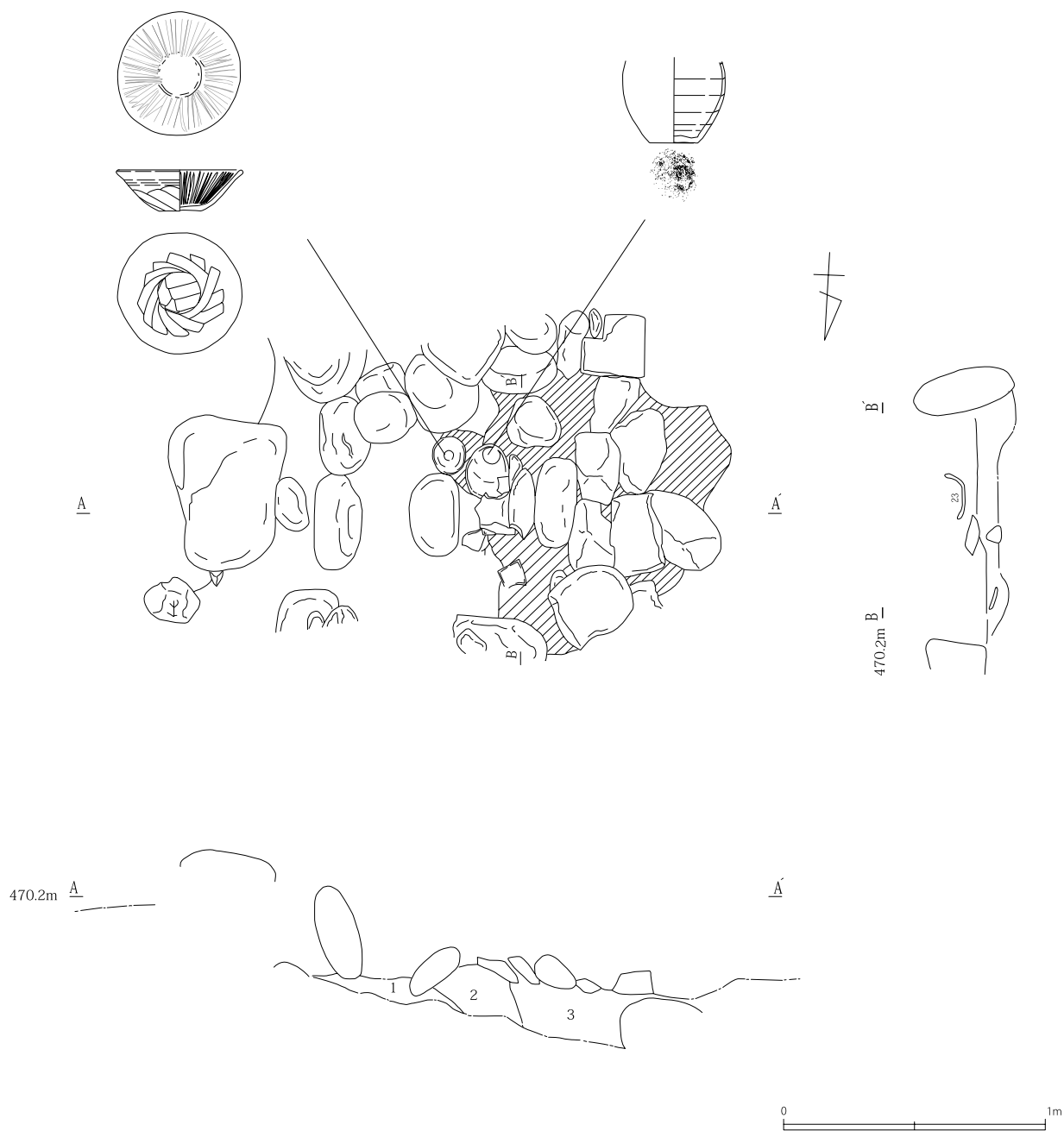
第 8 図 ニツ木遺跡第 3 次 全体図



第9図 大免遺跡 全体図1

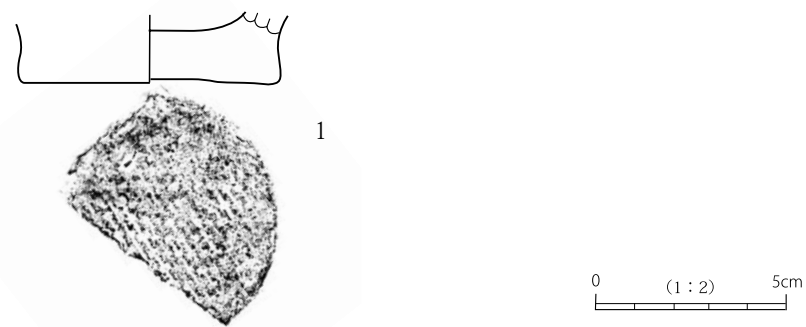


第 10 図 大免遺跡 全体図 2

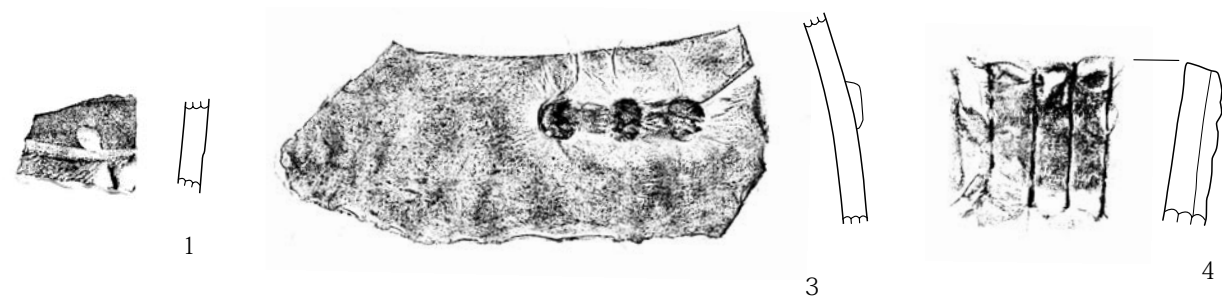


1. 10Y R2/2 (黒褐) 細粒土に5Y R3/3 (暗赤褐) の焼土が10%と2~5ミリ大の礫が10%混じる
2. 7.5Y R3/3 (暗褐) 細粒土と5Y R4/6 (赤褐) 細粒土が40 : 60%に炭化物が2%混じる
3. 5Y R4/6 (赤褐) 細粒土に5Y R3/6 (暗赤褐) 細粒土が10%と5Y R5/6 (明赤褐) 細粒土が20%混じる

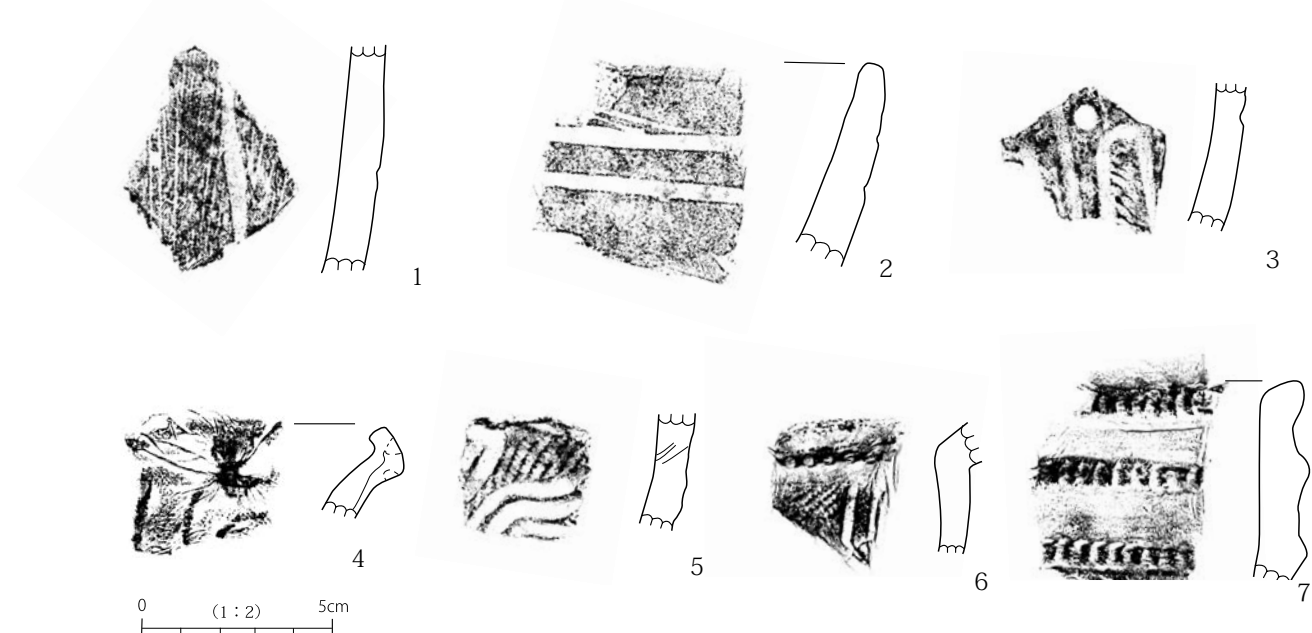
第 11 図 大免遺跡 特殊遺構



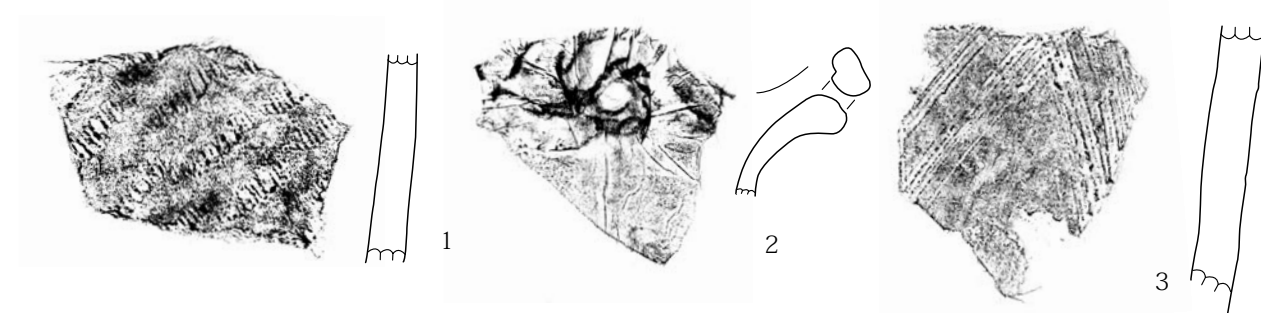
第12図 五反田（堰下西）遺跡 1号住出土遺物



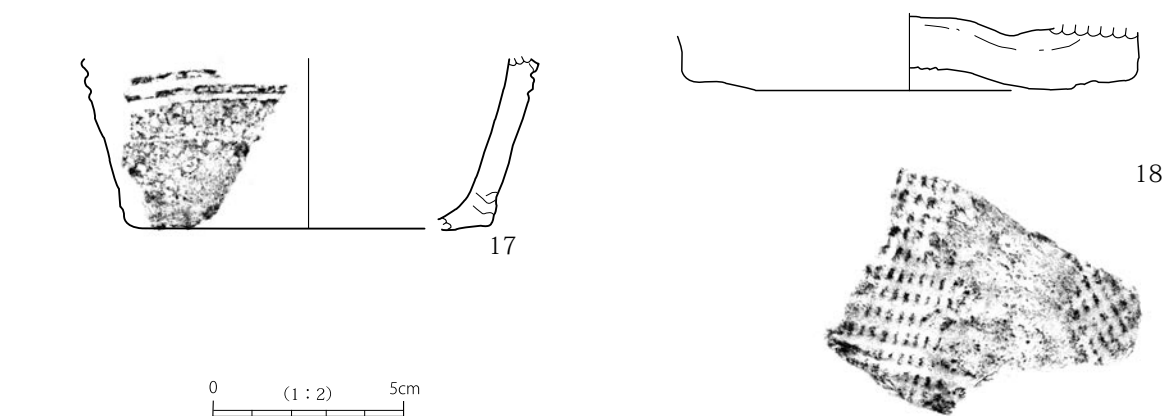
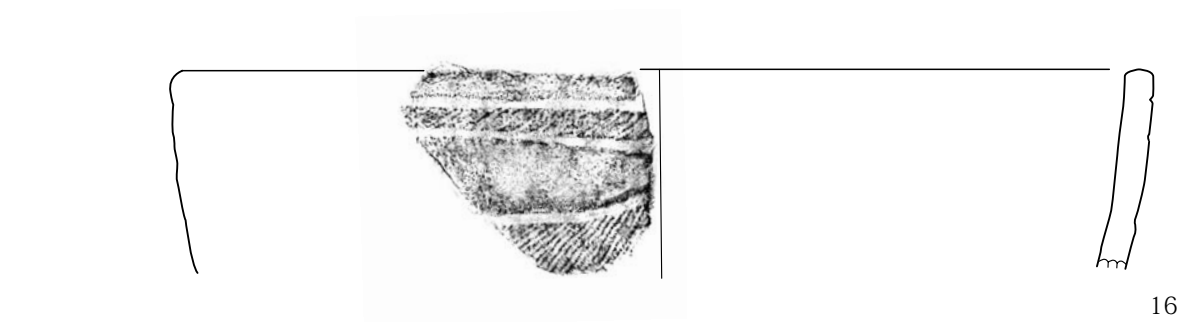
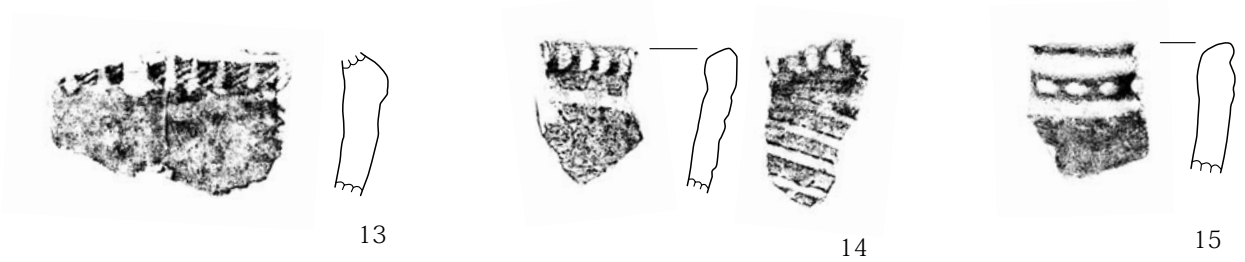
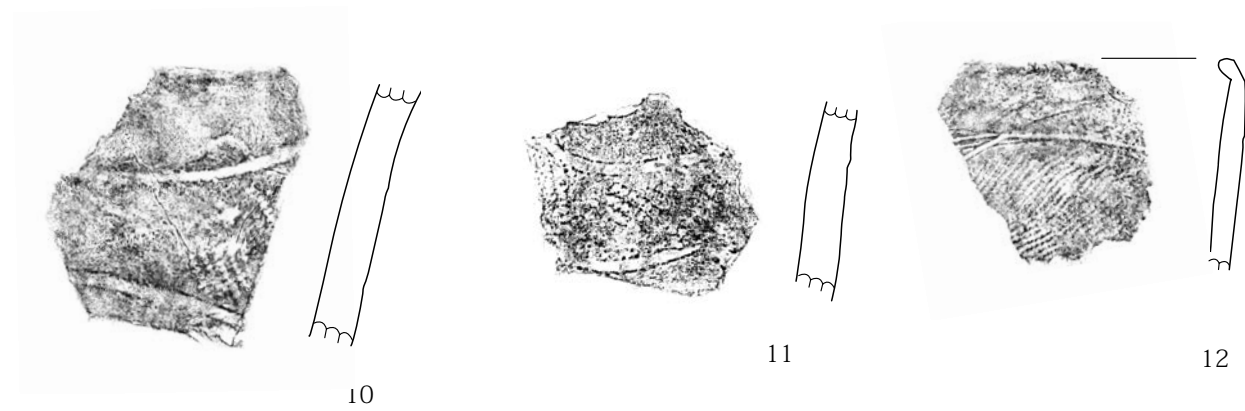
第13図 五反田（堰下西）遺跡 2号住出土遺物



第14図 五反田（堰下西）遺跡 3号住出土遺物

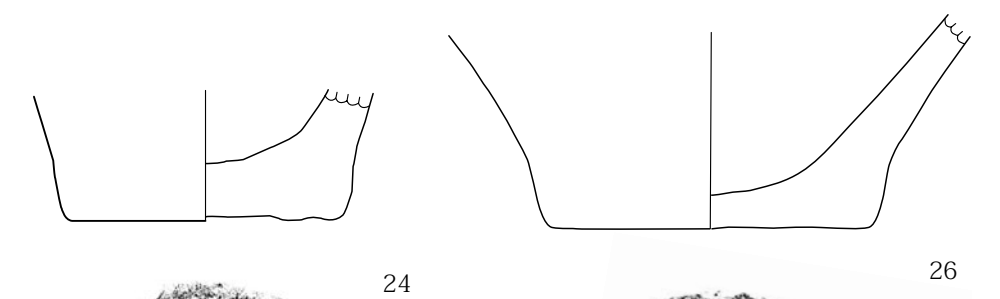
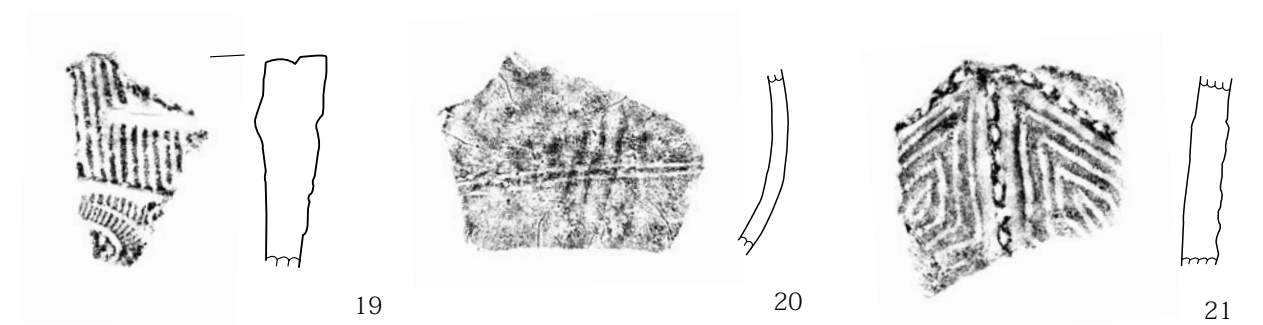


第15図 五反田（堰下西）遺跡 遺構外出土遺物



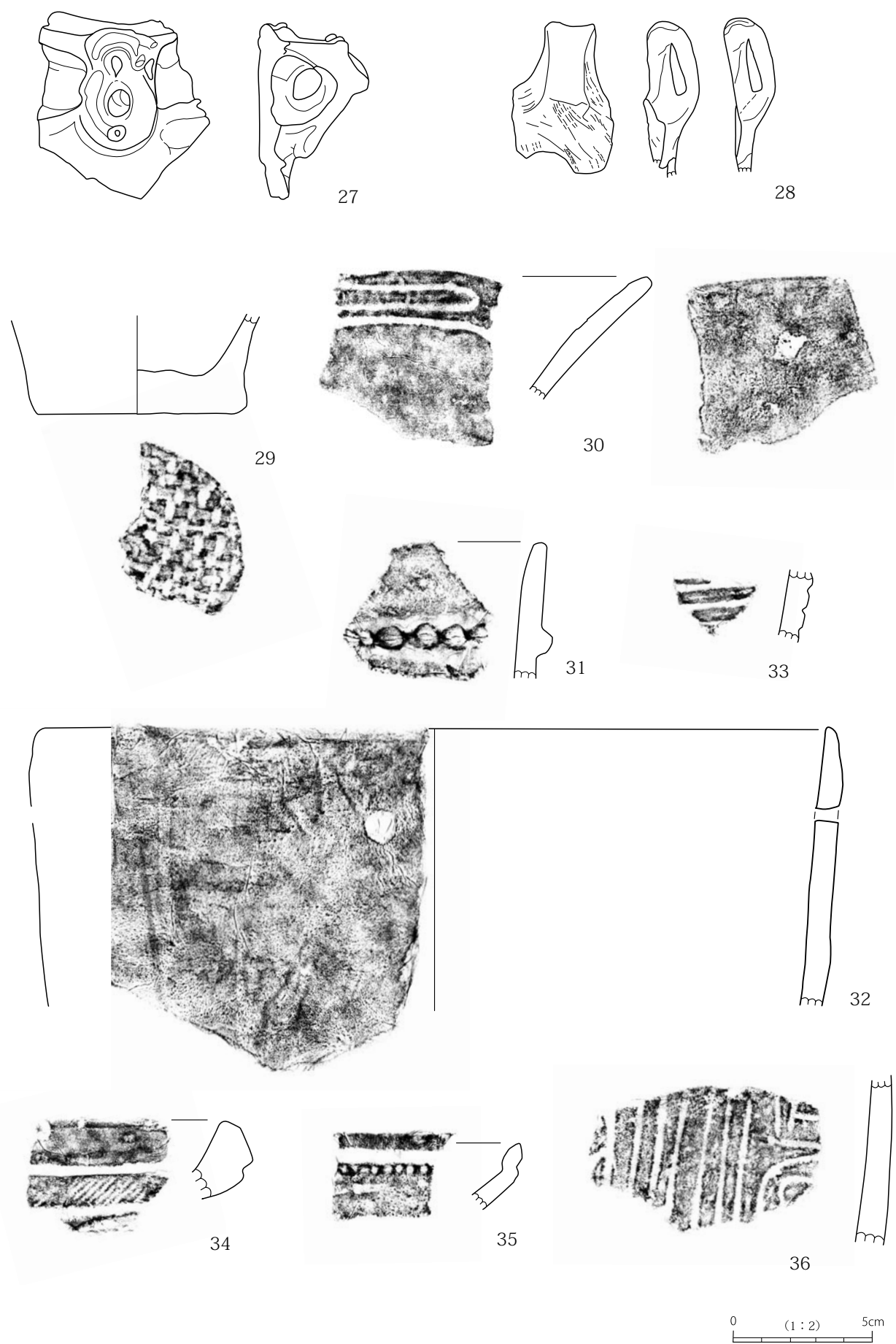
0 (1:2) 5cm

第 16 図 五反田（堰下西）遺跡 遺構外出土遺物

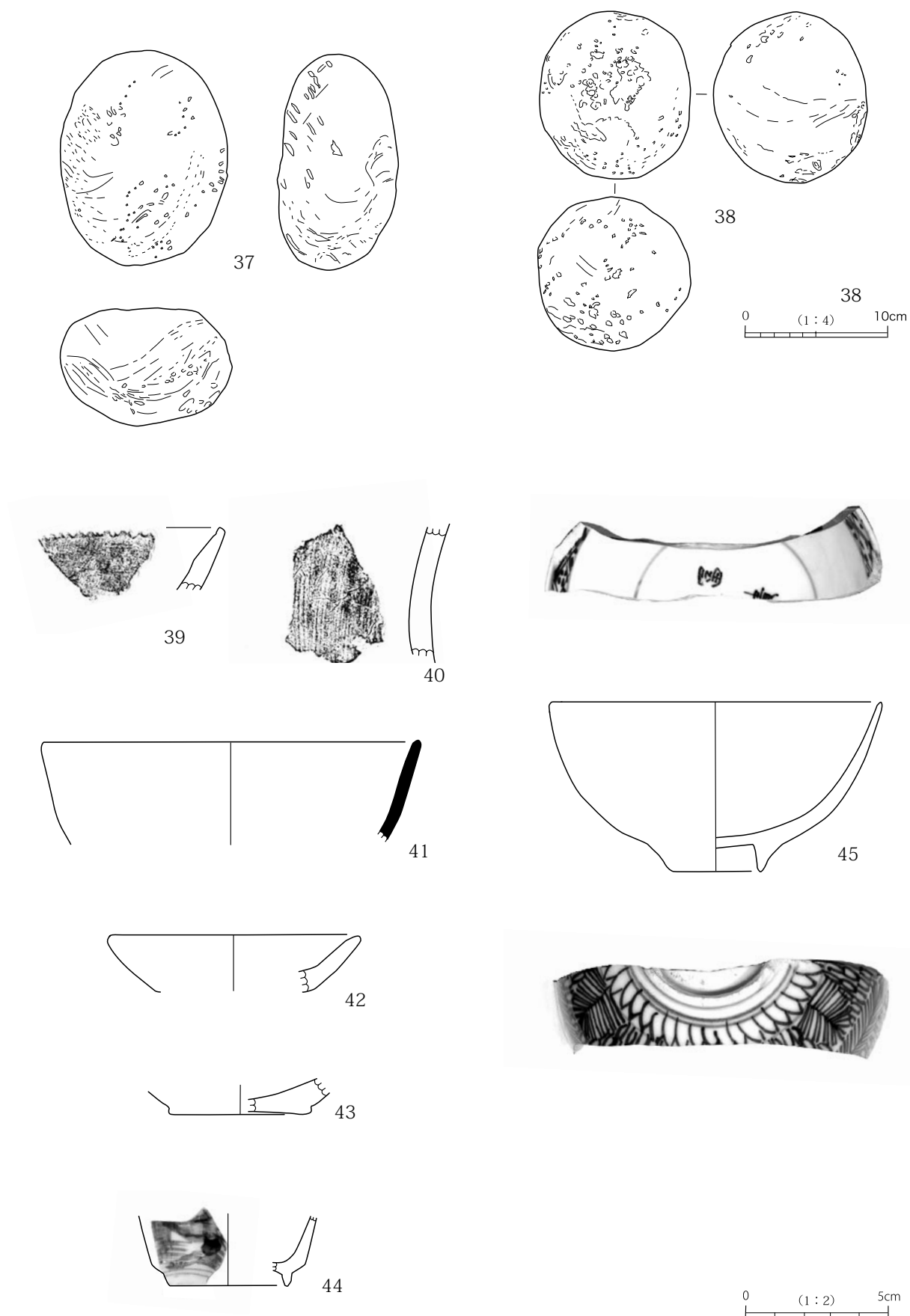


0 (1:2) 5cm

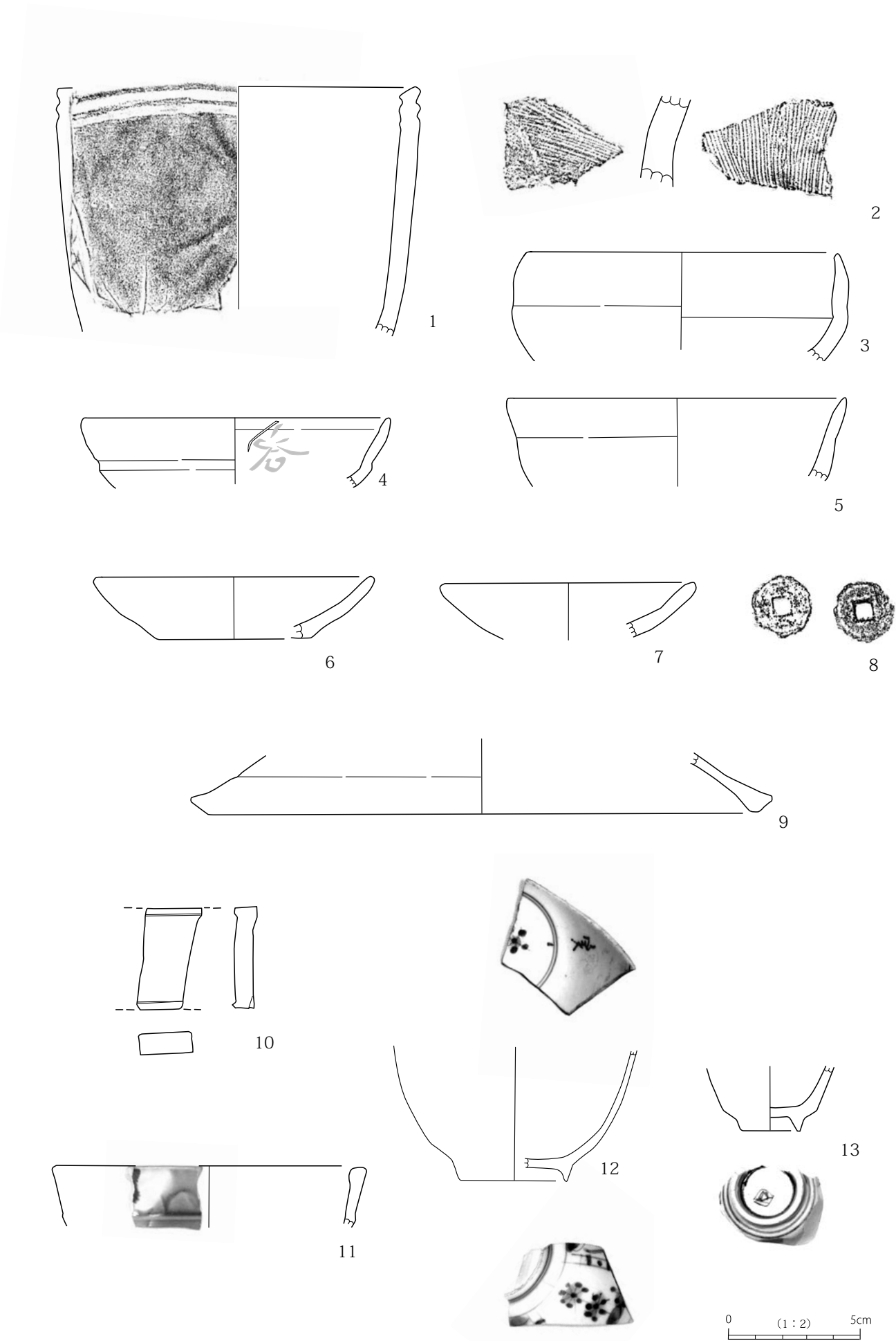
第 17 図 五反田（堰下西）遺跡 遺構外出土遺物



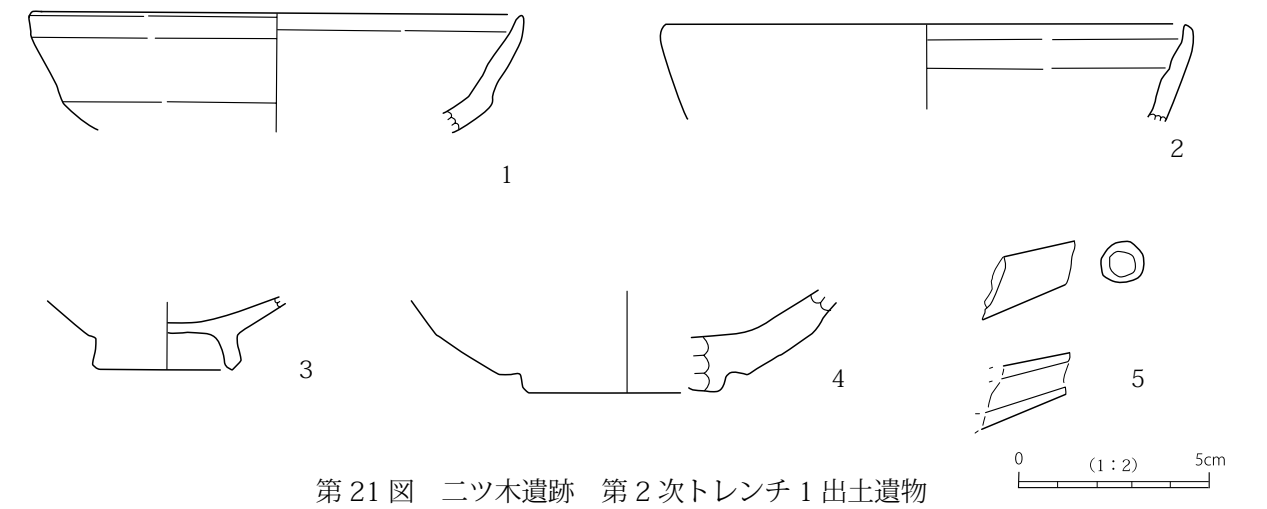
第 18 図 五反田（堰下西）遺跡 遺構外出土遺物



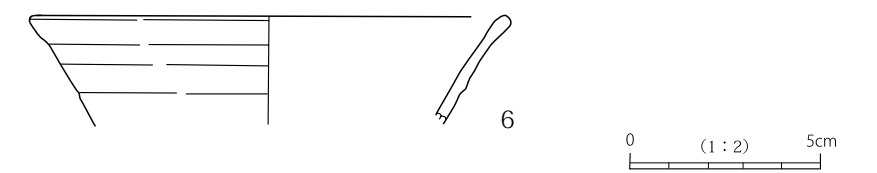
第 19 図 五反田（堰下西）遺跡 遺構外出土遺物



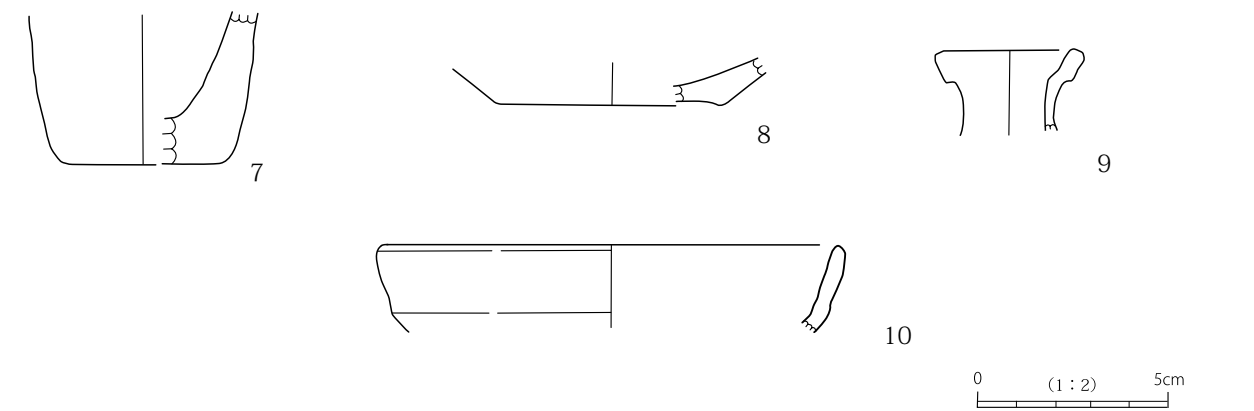
第 20 図 ニツ木遺跡 第 1 次出土遺物



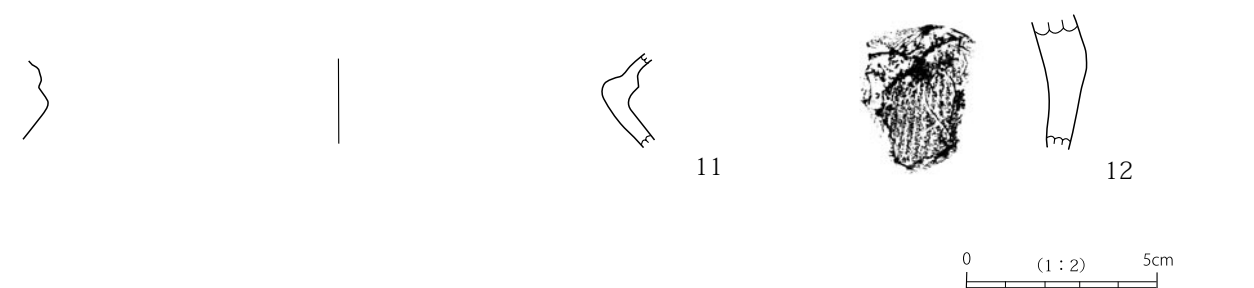
第 21 図 ニツ木遺跡 第 2 次トレンチ 1 出土遺物



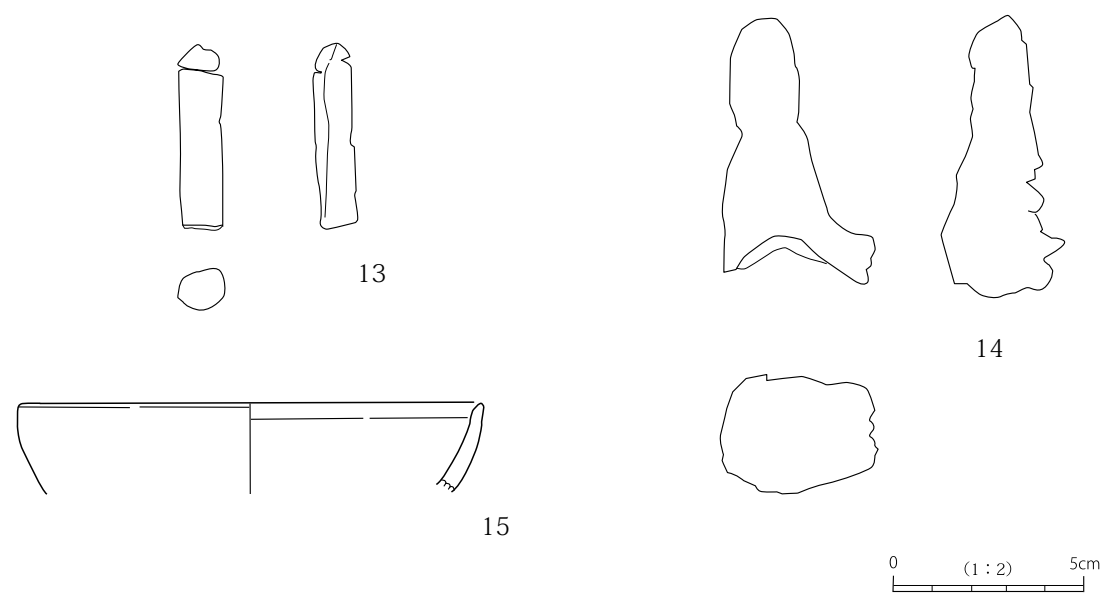
第 22 図 ニツ木遺跡 第 2 次トレンチ 2 出土遺物



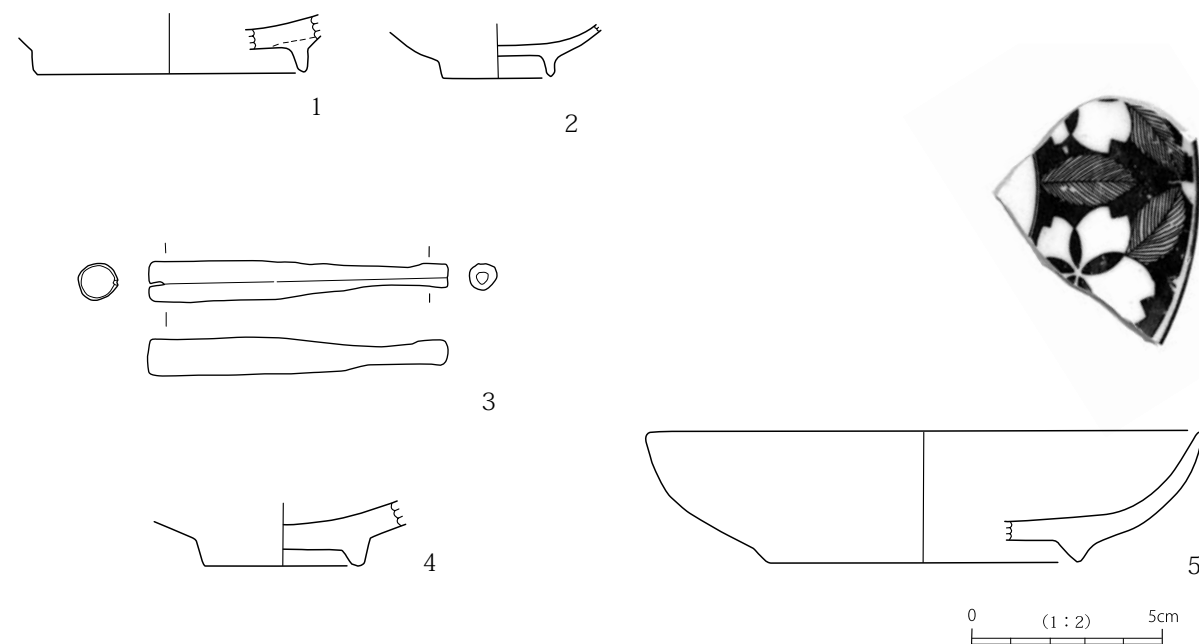
第 23 図 ニツ木遺跡 第 2 次トレンチ 3 出土遺物



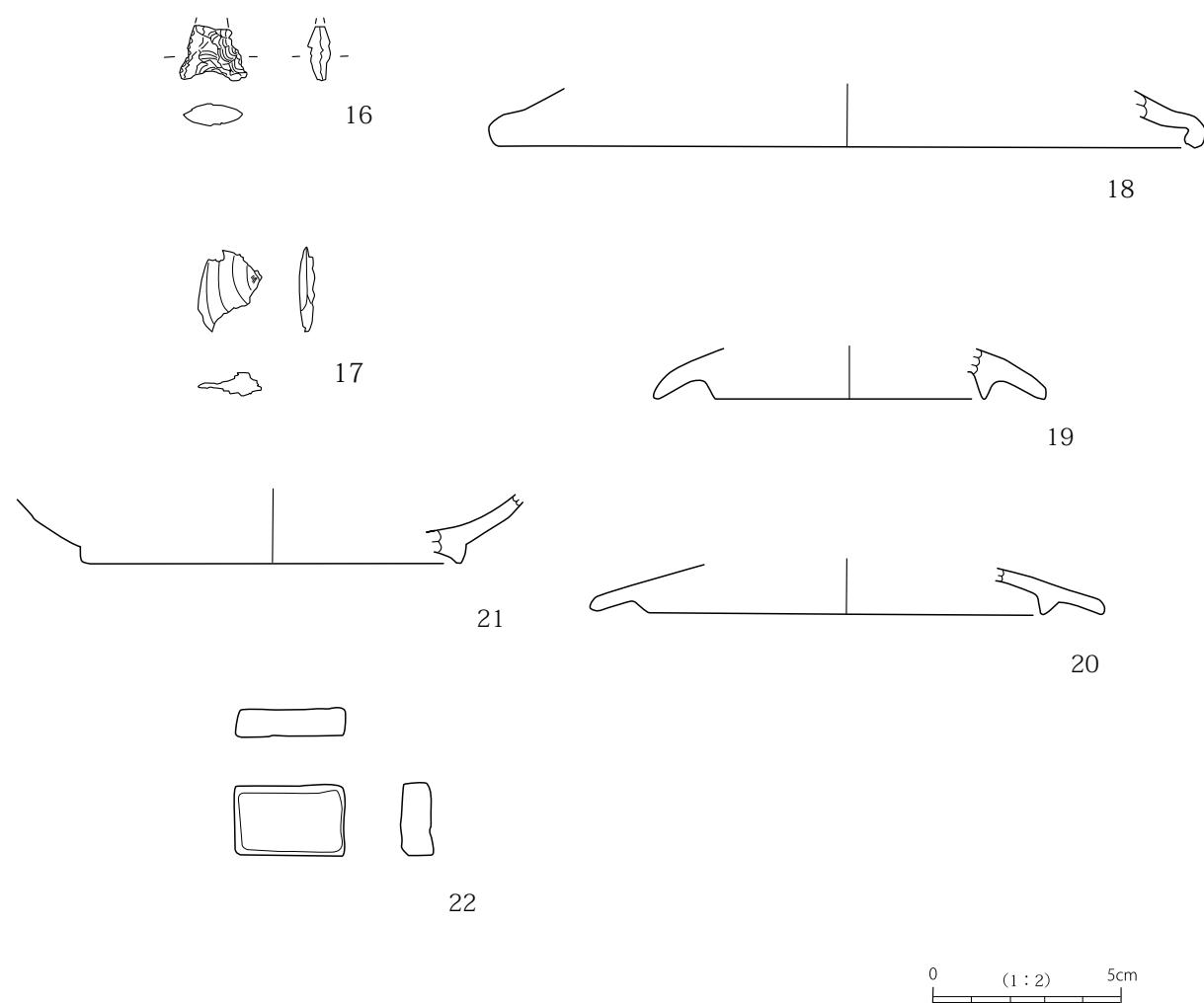
第 24 図 ニツ木遺跡 第 2 次トレンチ 4 出土遺物



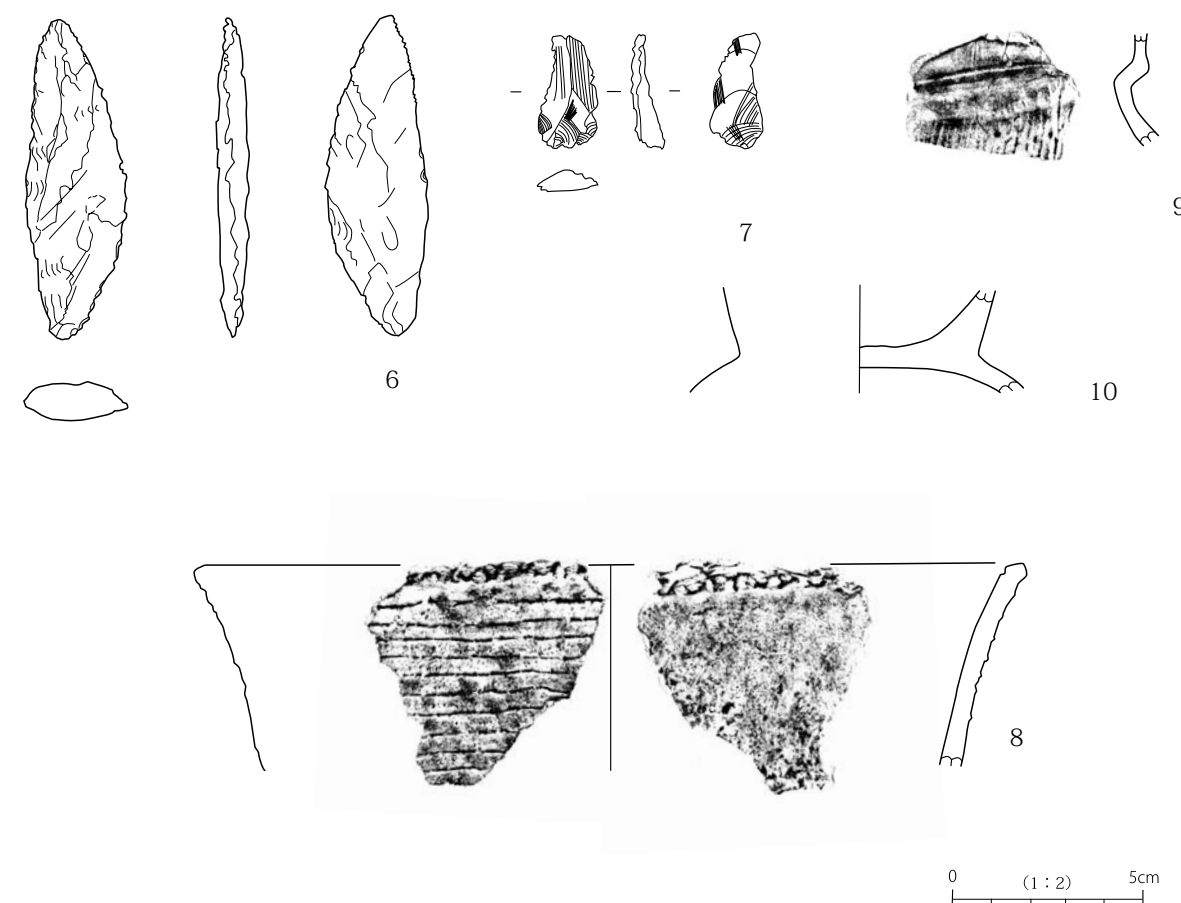
第 25 図 ニツ木遺跡 第 2 次立坑 1 出土遺物



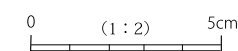
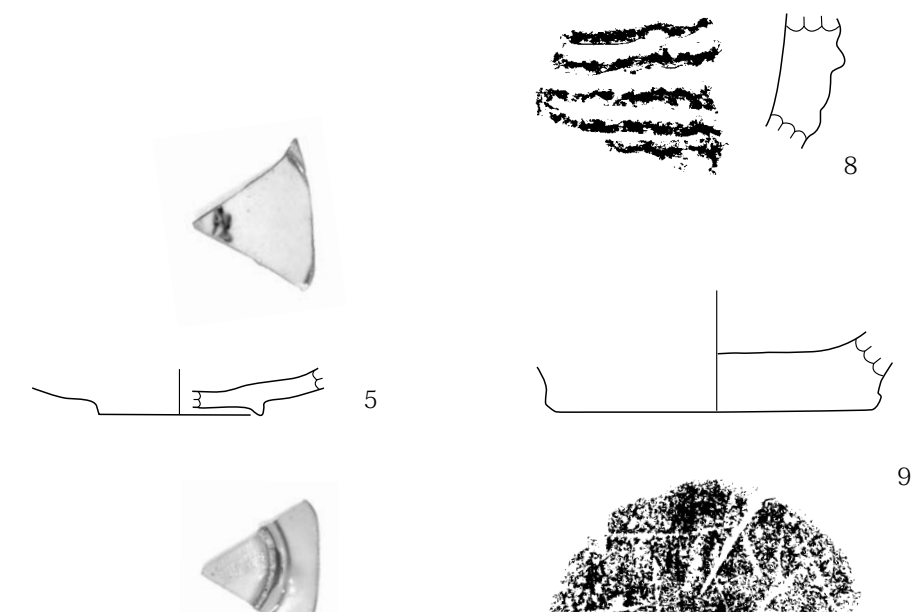
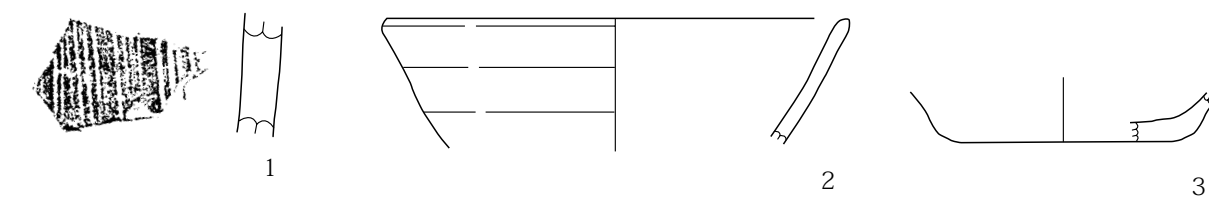
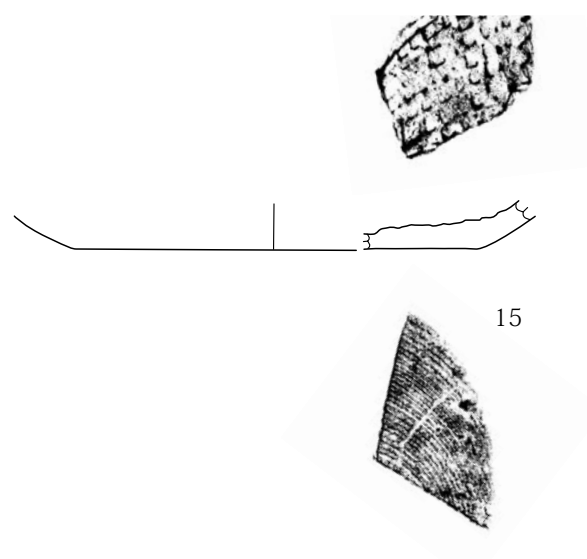
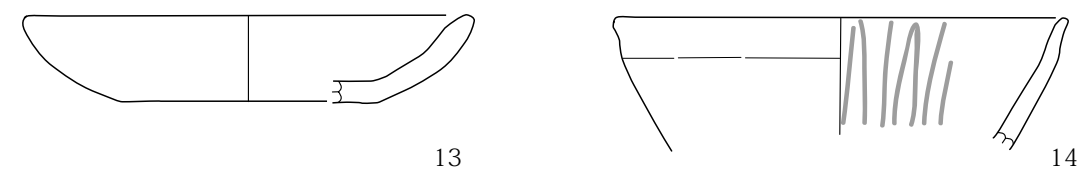
第 27 図 ニツ木遺跡 第 3 次トレンチ 1 出土遺物



第 26 図 ニツ木遺跡 第 2 次立坑 2 出土遺物

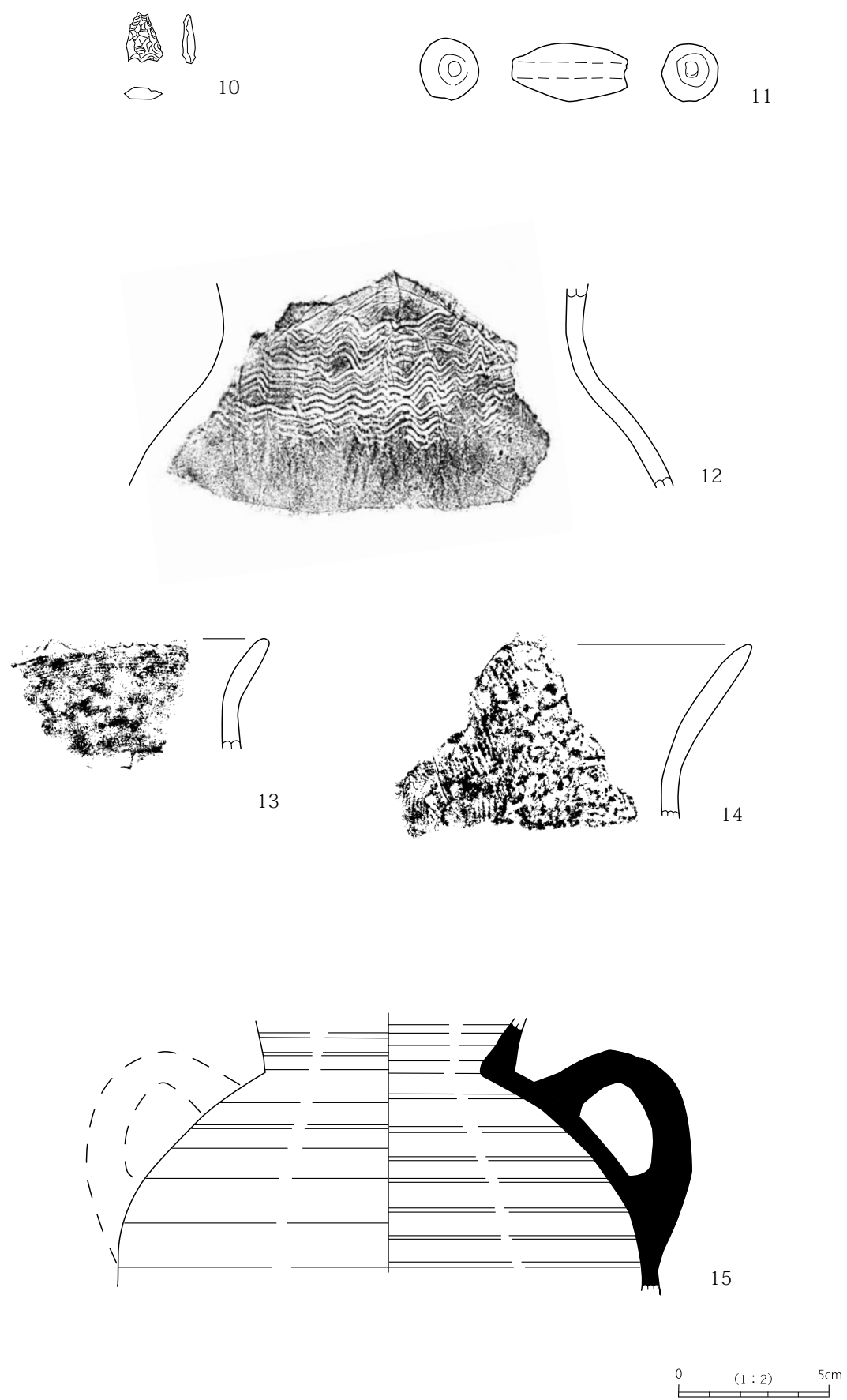


第 28 図 ニツ木遺跡 第 3 次トレンチ 2 出土遺物

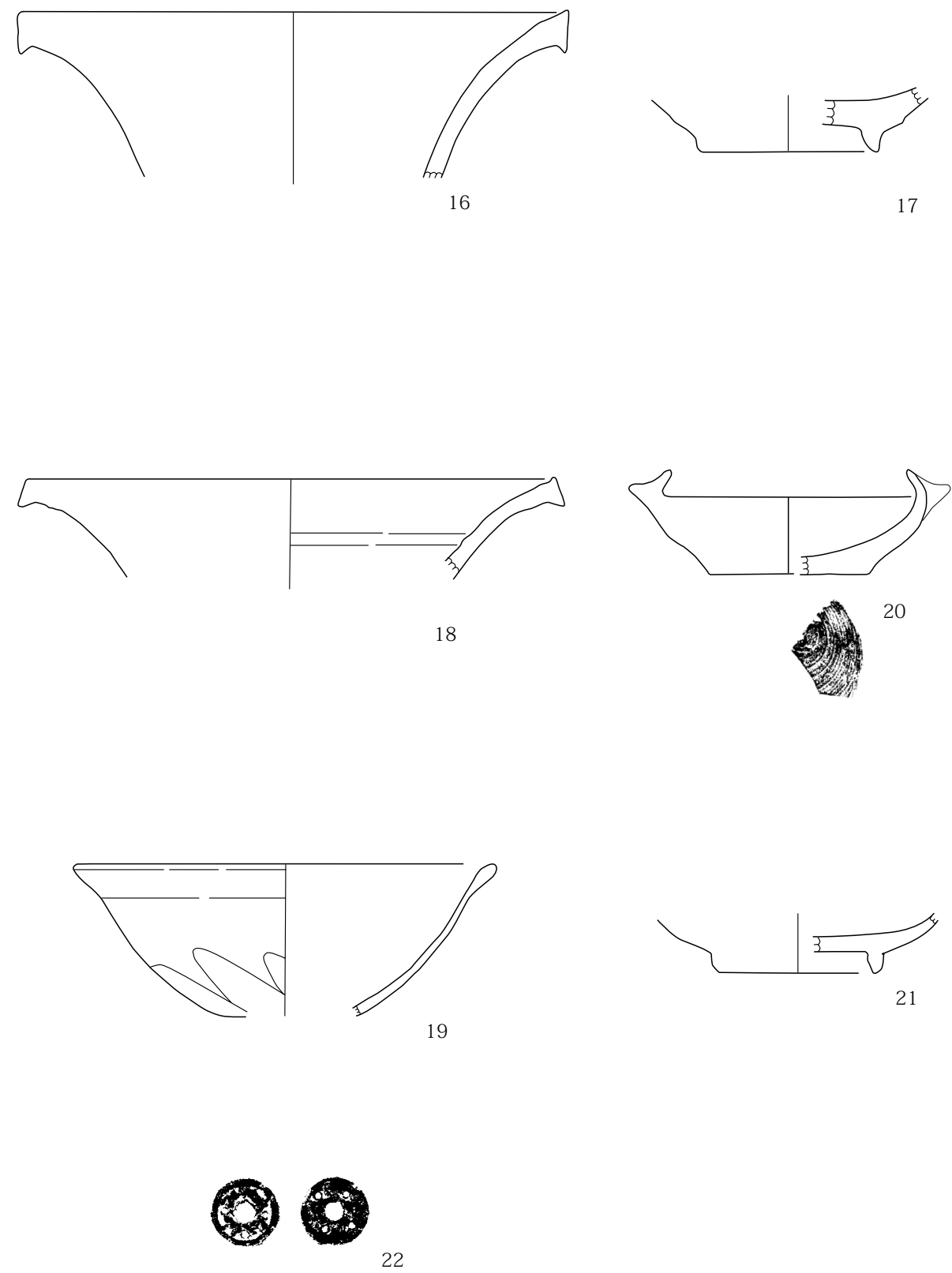


第 29 図 ニツ木遺跡 第 3 次トレンチ 3 出土遺物

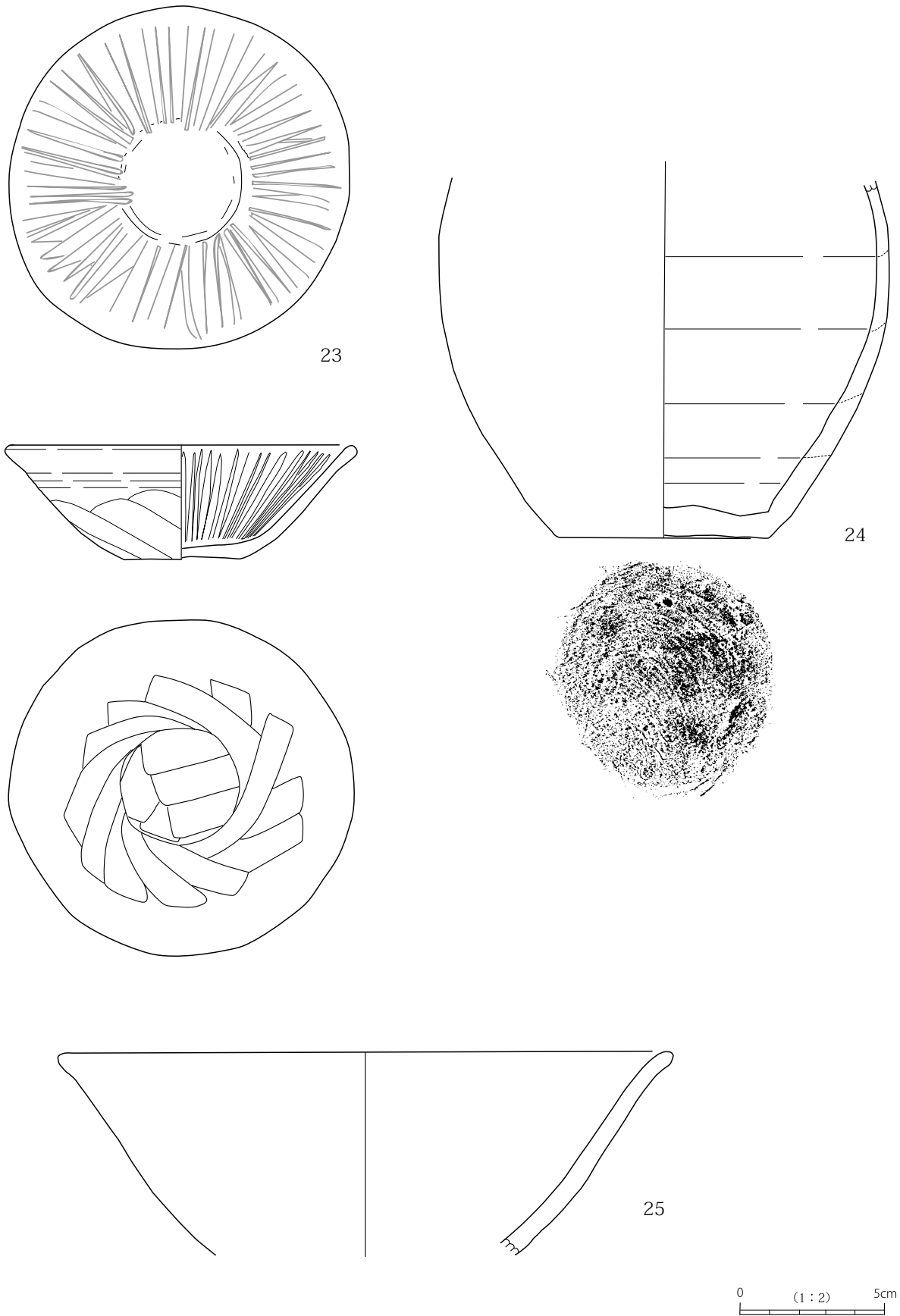
第 30 図 大免遺跡 出土遺物



第 31 図 大免遺跡 出土遺物



第 32 図 大免遺跡 出土遺物



第 33 図 大免遺跡 特殊遺構出土遺物

表 1-1 五反田（堰下西）遺跡出土遺物観察表

単位：cm
() 内の数字は、推定

図	番号	出土地点	種 別	器 種	口径	底径	器高	色 調	胎 土	整形施文	備 考
12	1	1号住	土器	深鉢	-	(6.8)	-	褐色	白, 黒色粒子	底部網代痕	
13	2	2号住	土器	深鉢	-	-	-	褐色	白色粒子, 雲母	凸帯を胴部に施した地文細文	
13	3	2号住	土器	壺	-	-	-	黄褐色	白色粒子, 雲母	三つのボタン貼付文	
13	4	2号住	土器	甕	-	-	-	黄褐色	白, 黒色粒子		
14	1	3号住	土器	深鉢	-	-	-	褐色	白色粒子	爪形文	
14	2	3号住	土器	深鉢	-	-	-	褐色	白色粒子, 雲母	太い沈線	
14	3	3号住	土器	深鉢	-	-	-	褐色	白色粒子	円形刺突文	
14	4	3号住	土器	深鉢	-	-	-	黄褐色	黒色粒子	8 字文	
14	5	3号住	土器	深鉢	-	-	-	褐色	白, 黒色粒子, 雲母	円形刺突文と沈線区画	
14	6	3号住	土器	深鉢	-	-	-	褐色	白色粒子	細文と沈線文	
14	7	3号住	土器	深鉢	-	-	-	褐色	白色粒子	(外) タテ条線文	
15	1	遺構外	土器	深鉢	-	-	-	黒褐色	白, 黒色粒子, 雲母	短い櫛歯状沈線文	
15	2	遺構外	土器	浅鉢	-	-	-	褐色	白色粒子, 雲母		
15	3	遺構外	土器	深鉢	-	-	-	褐色	白, 黒色粒子, 雲母	曾利、稜杉条線文	
15	4	遺構外	土器	深鉢	-	-	-	褐色	白, 黒色粒子, 雲母	曾利、櫛状条線文	
15	5	遺構外	土器	深鉢	-	-	-	褐色	白, 黒色粒子, 雲母	堀之内式、波状口縁、刺突文	
15	6	遺構外	土器	深鉢	-	-	-	茶褐色	白色粒子, 雲母	沈線文	
15	7	遺構外	土器	深鉢	-	-	-	褐色	白, 赤色粒子, 雲母	2 本沈線による区画文	
15	8	遺構外	土器	注口土器	-	-	-	褐色	白色粒子, 雲母		
15	9	遺構外	土器	深鉢	-	-	-	黄褐色	白, 黒色粒子	加曾利 B, 細い沈線による区画内に細文充填	
16	10	遺構外	土器	深鉢	-	-	-	褐色	白色粒子, 雲母	加曾利 B, 円弧文内細文充填	
16	11	遺構外	土器	深鉢	-	-	-	褐色	白色粒子, 雲母	加曾利 B, 円弧文内細文充填	
16	12	遺構外	土器	鉢	-	-	-	明黄褐色	白色粒子, 雲母	ヨコ細櫛位沈線下に細文	
16	13	遺構外	土器	深鉢	-	-	-	黄褐色	金雲母, 長石	口唇刻み目文	
16	14	遺構外	土器	深鉢	-	-	-	黄褐色	白色粒子	口唇刻み目文	
16	15	遺構外	土器	深鉢	-	-	-	黄褐色	白色粒子, 雲母	沈線間円形刺突文	
16	16	遺構外	土器	深鉢	(25.8)	-	-	黄褐色	白色粒子, 雲母	沈線による横位 3 画文、地文細文	
16	17	遺構外	土器	小型甕	-	(9.6)	-	赤褐色	赤色粒子, 雲母	2 本隆帯と刺突文	
16	18	遺構外	土器	浅鉢	-	(11.8)	-	灰褐色	白色粒子, 長石	網代痕	
17	19	遺構外	土器	深鉢	-	-	-	褐色	白, 黒色粒子	勝坂、櫛状沈線と区画文	
17	20	遺構外	土器	深鉢	-	-	-	暗灰黄色	白色粒子, 雲母	加曾利 B、2 本沈線細文	
17	21	遺構外	土器	深鉢	-	-	-	褐色	白色粒子, 雲母	堀之内、平行沈線で描かれた三角形と隆線による区画	
17	22	遺構外	土器	深鉢	(24.0)	-	-	褐色	白色粒子	加曾利 E、口縁部 1 本沈線	
17	23	遺構外	土器	深鉢	-	-	-	黄褐色	白色粒子	列点状、並列の下沈線	
17	24	遺構外	土器	深鉢	-	(7.2)	-	褐色		網代痕	

表 1-2 五反田（堰下西）遺跡出土遺物観察表

図	番号	出土地点	種 別	器 種	口径	底径	器高	色 調	胎 土	整形施文	備 考
17	25	遺構外	土器	深鉢	-	(8.4)	-	黄褐色	白色粒子	蛇行沈線	
17	26	遺構外	土器	深鉢	-	-	-	灰褐色	白・赤色粒子	内外ナデ底部網代痕	
18	27	遺構外	土器	把手付深鉢	-	-	-	暗褐色	白・黒色粒子	8字環状突起	
18	28	遺構外	土器	把手付深鉢	-	-	-		白色粒子・長石		
18	29	遺構外	土器	深鉢	-	(7.6)	-	暗赤褐色	白色粒子	網代痕	
18	30	遺構外	土器	浅鉢	-	-	-		白色粒子・雲母	(外) 条文 (内) 沈線区画文	
18	31	遺構外	土器	深鉢	-	-	-		白色粒子	手ひねり横位隆帯に指圧痕を施す	
18	32	遺構外	粗製土	深鉢	(28.6)	-	-	暗褐色	白色粒子・雲母	荒海式・小孔	
18	33	遺構外	土器	深鉢	-	-	-	褐灰色	白色粒子	2本沈線	
18	34	遺構外	土器	深鉢	-	-	-	褐色	白・赤色粒子・雲母	2本沈線間縄文条線充填	
18	35	遺構外	土器	注口土器	-	-	-	黄褐色	黒色粒子	刺突文	
18	36	遺構外	土器	深鉢	-	-	-	鈍い褐色	白・黒色粒子・雲母		長軸 7.6cm 短軸 6.0cm 厚み 4.1cm
19	37	遺構外	石器	凹石							長軸 11.8cm 短軸 10.7cm 厚み 10.8cm
19	38	遺構外	石器	丸石							
19	39	遺構外	土器	カメ	-	-	-	鈍い褐色	白色粒子	刻み目文	
19	40	遺構外	土器	深鉢	-	-	-	黄褐色	白色粒子	(内外) 櫛歯状沈線文	
19	41	遺構外	須恵器	環	-	-	-	黄灰色	白色粒子	内外ナデ	
19	42	遺構外	土師器	灯明皿	(9.0)	-	-	褐色	赤色粒子	内外スス	
19	43	遺構外	土師器	灯明皿 ワラケ	-	(5.0)	-	褐色	赤色粒子	底部糸切り痕	
19	44	遺構外	染付	高台付碗	-	(4.2)	-	藍色			
19	45	遺構外	染付	茶碗	(11.8)	(3.2)	(6.0)	藍色			

表 2 ニツ木遺跡第 1 次出土遺物観察表

図	番号	種別	器種	口径	底径	器高	色 調	胎 土	整形施文	備 考
20	1	精製土器	平口縁鉢	(13.6)	-	-	褐色	長石・白・黒粒子	口縁下 2 本沈線巡る	
20	2	土器	甕	-	-	-		白粒子	条痕文	
20	3	土器	碗	(11.8)	-	-	黒褐色	白・黒粒子	内外黄色	鬼高
20	4	土師器	環	(11.8)	-	-	褐色		鬼高・稜あり・内墨書	墨書
20	5	土師器	環	(12.8)	-	-	赤褐色	長石・白色粒子	鬼高・稜あり・口辺部コナテ	
20	6	土師器	灯明皿	(10.6)	(5.8)	(2.4)	にぶい褐色	長石・白・赤粒子	鬼高・稜あり口辺部コナテ	
20	7	土師器	灯明皿	(9.8)	-	-	にぶい褐色		糸切り痕	
20	8	古銭	政和通宝	-	-	-			北宋 AD.1111	長さ 2.5cm 厚 0.1cm 重さ 1.9 g
20	9	施釉陶器	蓋	(21.2)	-	-	にぶい黄色			
20	10		甕				黒褐色			長さ 3.0 cm 幅・厚 0.8cm 重さ 1.5 g
20	11	染付磁器	向付	(11.8)	-	-				
20	12	染付磁器	高台付碗	-	(3.8)	-			みこみに五弁花文	
20	13	染付陶器	小鉢	-	(2.2)	-				

表 3 ニツ木遺跡第 2 次出土遺物観察表

図	番号	出土地点	種 別	器 種	口径	底径	器高	色 調	胎 土	整形施文	備 考
21	1	トレンチ 1	土師器	環	(12.8)	-	-	赤褐色	赤粒子	鬼高、胴に稜	
21	2	トレンチ 1	土師器	環	(13.8)	-	-	黄褐色	赤・黒粒子	鬼高、口縁下に稜	
21	3	トレンチ 1	染付磁器	高台付茶碗	-	(3.5)	-				
21	4	トレンチ 1	施釉陶器	鉢	-	(4.8)	-	オリーブ黄色			
21	5	トレンチ 1	施釉陶器	急須	-	-	-	暗灰色			
22	6	トレンチ 2	在地系土師器	環	(12.8)	-	-	褐色	白色粒子	口縁外反さみ	
23	7	トレンチ 3	土器	手捏ね	-	(4.2)	-	褐色	白色粒子・雲母	木葉痕	
23	8	トレンチ 3	土師器	環	-	(6.0)	-				
23	9	トレンチ 3	施釉陶器	徳利の口	(3.4)	-	-	暗いオリーブ色			
23	10	トレンチ 3	在地系土師器	環	(6.0)	-	-	灰褐色	白色粒子・雲母	鬼高・稜あり	
24	11	トレンチ 4	土器	甕	-	-	-	にぶい黄色褐色	黒色粒子	外 (揃条痕文)、斜条沈線文	
24	12	トレンチ 4	土器	甕	-	-	-			ハケ目タテ	
25	13	立坑 1	骨製品		-	-	-	表面褐色		男性器をかたどった製品、まじない用	長軸 4.5cm 厚さ 0.62cm 重さ 1g
25	14	立坑 1	土製品	土偶	-	-	-	黄褐色			
25	15	立坑 1	土師器	環	(12.2)	-	-	茶褐色	黒色粒子・長石	鬼高、口縁に稜	長軸 - 短軸 1.5cm 重さ 0.6g
26	16	立坑 2	石器								長軸 - 短軸 1.7cm 厚 0.4cm 重さ 0.5g
26	17	立坑 2	石器	石刃							
26	18	立坑 2	施釉陶器	蓋	(18.6)	-	-	薄茶色			
26	19	立坑 2	施釉陶器	蓋	(10.2)	-	-	茶色			
26	20	立坑 2	施釉陶器	蓋	(15.8)	-	-	暗褐色			
26	21	立坑 2	灰釉陶器	高台付	-	(10.0)	-	乳白色			
26	22	立坑 2	陶器	タイル材				白色		裏に接着剤	長軸 9.1cm 短軸 1.95cm 厚み 0.72cm 重さ 9g

表 4 ニツ木遺跡第 3 次出土遺物観察表

図	番号	出土地点	種 別	器 種	口径	底径	器高	色 調	胎 土	整形施文	備 考
27	1	トレンチ 1	土師器	高台付	-	(7.2)	-	にぶい褐色	白色粒子・金雲母	貼付高台	
27	2	トレンチ 1	陶器	高台付碗	-	(2.8)	-				
27	3	トレンチ 1	金属器	キセル							長軸 7.9cm 孔 0.6cm 1.0cm 重さ 11.1 g
27	4	トレンチ 1	陶器	高台付碗	-	(4.0)	-	茶褐色		内茶褐色・外緑黄色	底部削り出し
27	5	トレンチ 1	染付陶器	小鉢	(14.6)	(8.2)	(3.4)				
28	6	トレンチ 2	石器	尖頭器						頁岩	長軸 8.4cm 短軸 2.8cm 厚み 0.8cm 重さ 18.2 g
28	7	トレンチ 2	石刃	剥器							長軸 3.0cm 短軸 2.8cm 厚み 0.5cm 重さ 1.5 g
28	8	トレンチ 2	土器	深鉢	(22.0)	-	-	暗褐色	金雲母・黒雲母	口唇に刻目、器の外周平行沈線文 (v字磨き沈線)	
28	9	トレンチ 2	土器	甕	-	-	-	褐色	黒・白色粒子・長石	S 字状口縁	
28	10	トレンチ 2	土器	高坏	-	-	-	にぶい赤褐	白色粒子・金雲母長石	頸部タテハケ目・朱あり	
29	11	トレンチ 3	土器	深鉢	-	-	-	褐色	白色粒子・金雲母	櫛歯状細条線文	須恵坏模倣
29	12	トレンチ 3	石器	打製石斧					頁岩		長軸 2.4cm 短軸・厚み 1.2cm 重さ 23.9 g
29	13	トレンチ 3	土師器	環	(12.0)	(6.7)	(2.4)	暗赤褐色	金雲母		鬼高
29	14	トレンチ 3	土師器	環	(12.0)	-	-	鈍赤褐色	赤色粒子	口縁下稜あり・内暗文あり	
29	15	トレンチ 3	陶器	おろしかね	-	(11.0)	-	灰色		底部糸切り痕	

表 5 大免遺跡出土遺物観察表

図	番号	種 別	器 種	口径	底径	器高	色 調	胎 土	整形施文	備 考
30	1	土器	深鉢	-	-	-		白色粒子		
30	2	内黒土器	坏	(12.2)	-	-	灰黄色	白,赤色粒子		暗文
30	3	甲斐型土師		-	(6.2)	-		白,黒粒子	条切り	
30	4	染付磁器		-	-	-				
30	5	染付磁器	皿	-	(4.2)	-				
30	6	古銭	寛永通宝							直径 2.4cm 厚さ 0.15cm 孔 0.6cm
30	7	土製品	人形				黄褐色		背面に鯛あり	大国主令、素焼き、幅 1.9cm 高さ 2.9cm
30	8	土器						白,黒粒子		曲線の粘土紐の雁目文、曾利 1 ～ 2
30	9	土器	深鉢	-	(8.6)	-	褐色	金雲母,白,赤粒子	底部木葉痕	
31	10	黒曜石	石鏃						有茎、側縁刺雕	長軸 1.6cm 短軸 1.2cm 厚み 0.5cm 重さ 0.7g
31	11	土製品					灰褐色	白色粒子	土錐錐形	長軸 3.9cm 短軸 2.0 重さ 13g 孔 0.5cm
31	12	土器	壺	-	-	-	鈍い褐色	長石,白色粒子	内横ナデ外波状	
31	13	土器	壺	-	-	-	灰褐色	白,黒粒子,雲母		口唇刻目
31	14	土器	壺	-	-	-	赤褐色	白,黒粒子,雲母	細葉状工具に細	櫛歯状工具による細条線文
31	15	須恵器	把手付壺	-	-	-		白色粒子	ロクロナデ	
32	16	須恵器	長頸瓶	(18.4)	-	-	暗灰黄色		内ロクロナデ外	
32	17	内黒土器	高台付坏	-	(6.0)	-	外、赤褐色	白,赤色粒子		ハソウカ瓶
32	18	須恵器	壺	(17.6)	-	-	灰白色		内外ロクロナデ	
32	19	土師器	坏	(14.3)	-	-	褐色	白,赤色粒子	外へラ削り	
32	20	灰軸	四耳皿	(10.8)	(5.2)	(3.0)	灰オリーブ色		内軸葉外ロクロ	
32	21	灰軸陶器	皿	-	(5.2)	-	黄灰色			高台付
32	22	古銭							熙寧元宝、小孔 4 つあり	長さ 2.3 重さ 2.7g
33	23	土師器	坏	11.6	4.3	4.0	にぶい橙色	赤白粒子	(外) へラ削り、スス付着	みこみあり、放射条暗文
33	24	土器	小型カメ	-	(7.3)	-	にぶい褐色	白,赤,黒色粒子	ロクロ整形、外内方向のハケ目、(内) ナデ	糸切り痕
33	25	内黒土器	坏	(21.2)	-	-		赤色粒子,雲母		
		須恵器	カメ	-	-	-		白,黒粒子		

写真図版



五反田（堰下西）遺跡 1 号住居址



五反田（堰下西）遺跡 2 号住居址



五反田（堰下西）発掘風景



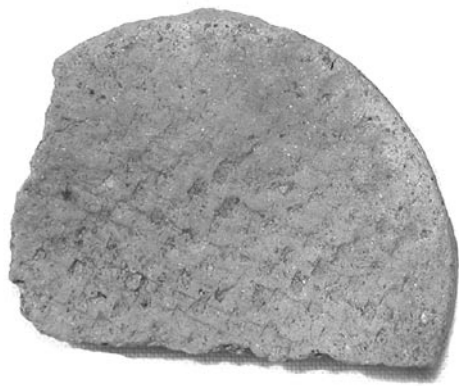
二ツ木遺跡第 1 次発掘風景



大免遺跡発掘風景

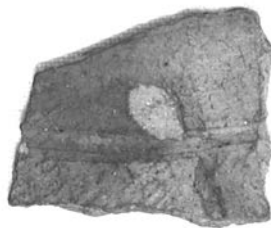


大免遺跡特殊遺構



1

五反田（堰下西）遺跡 1 号住出土遺物



1



2



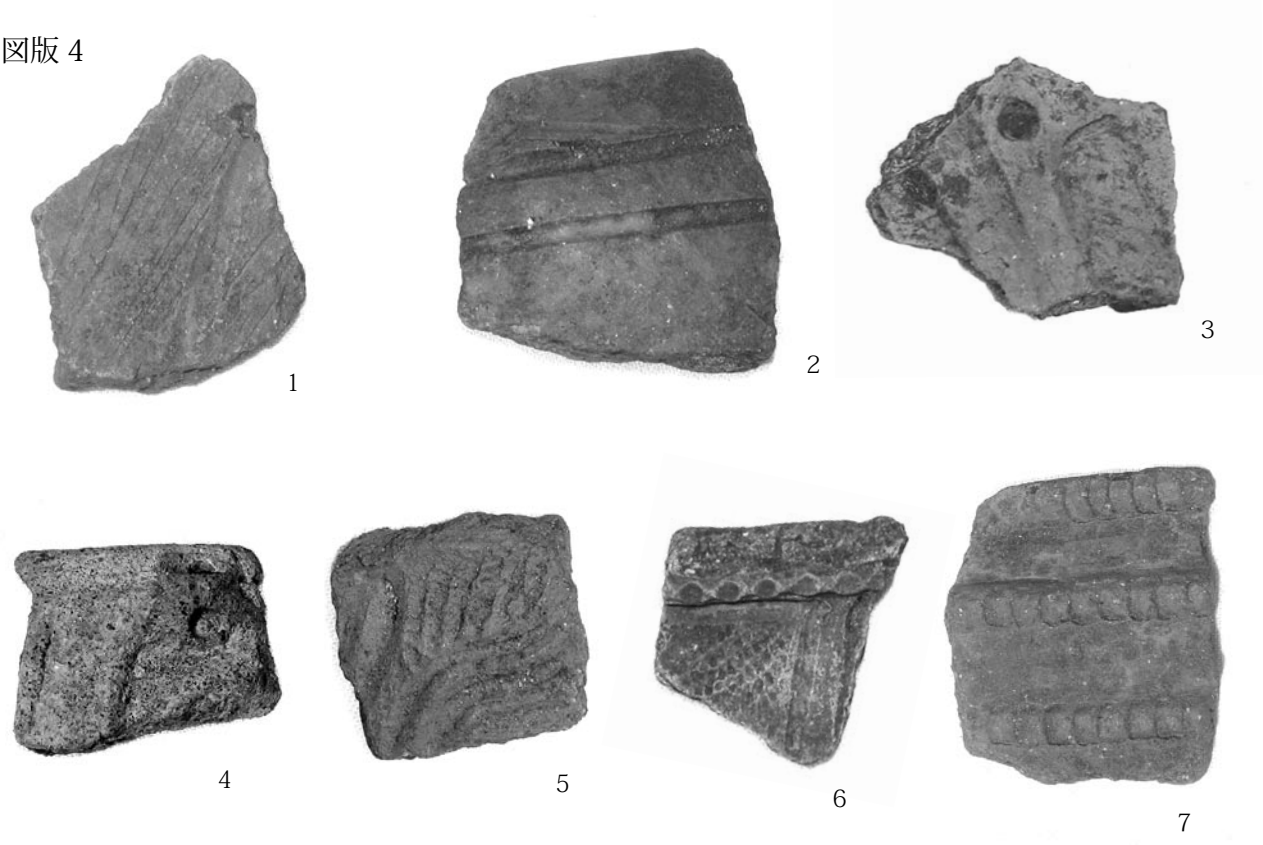
3



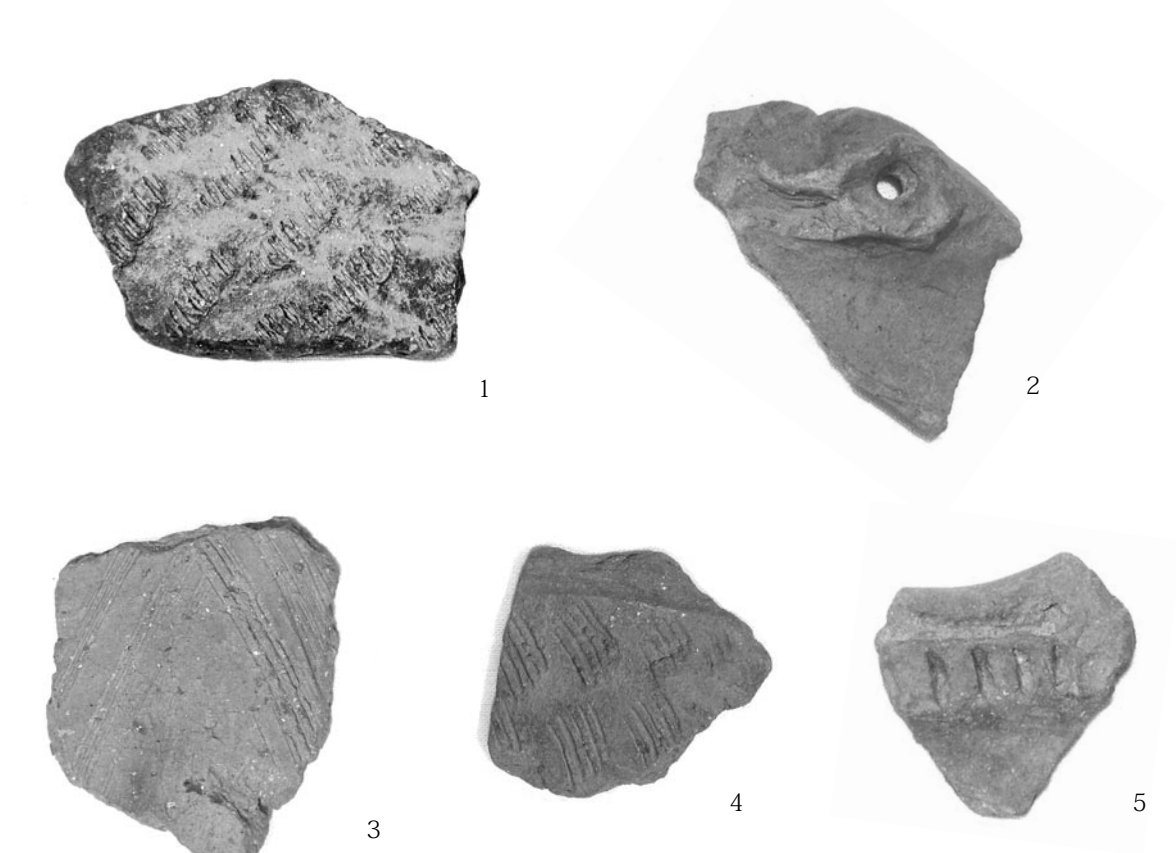
4

五反田（堰下西）遺跡 2 号住出土遺物

図版 4

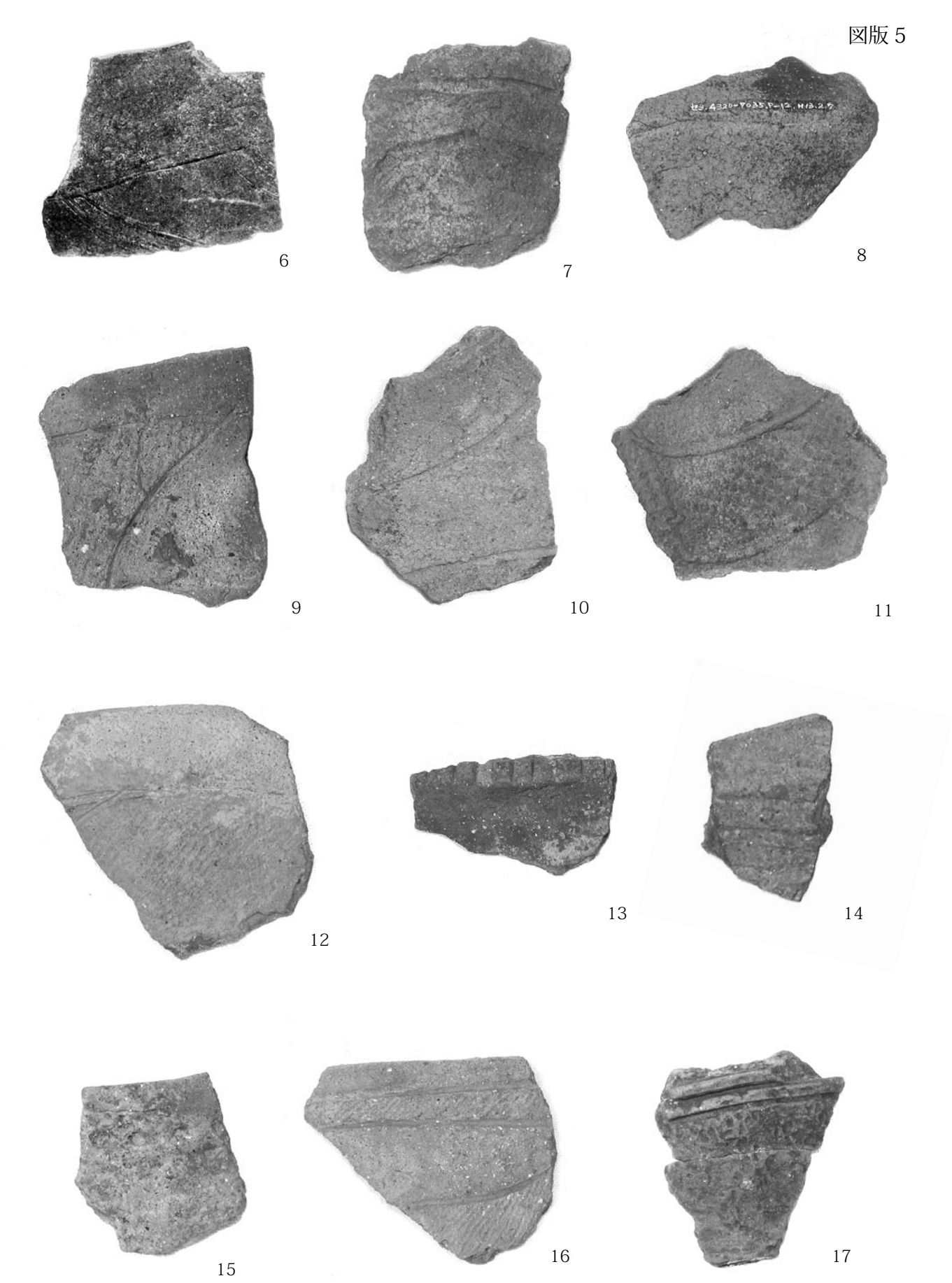


五反田（堰下西）遺跡 3号住出土遺物



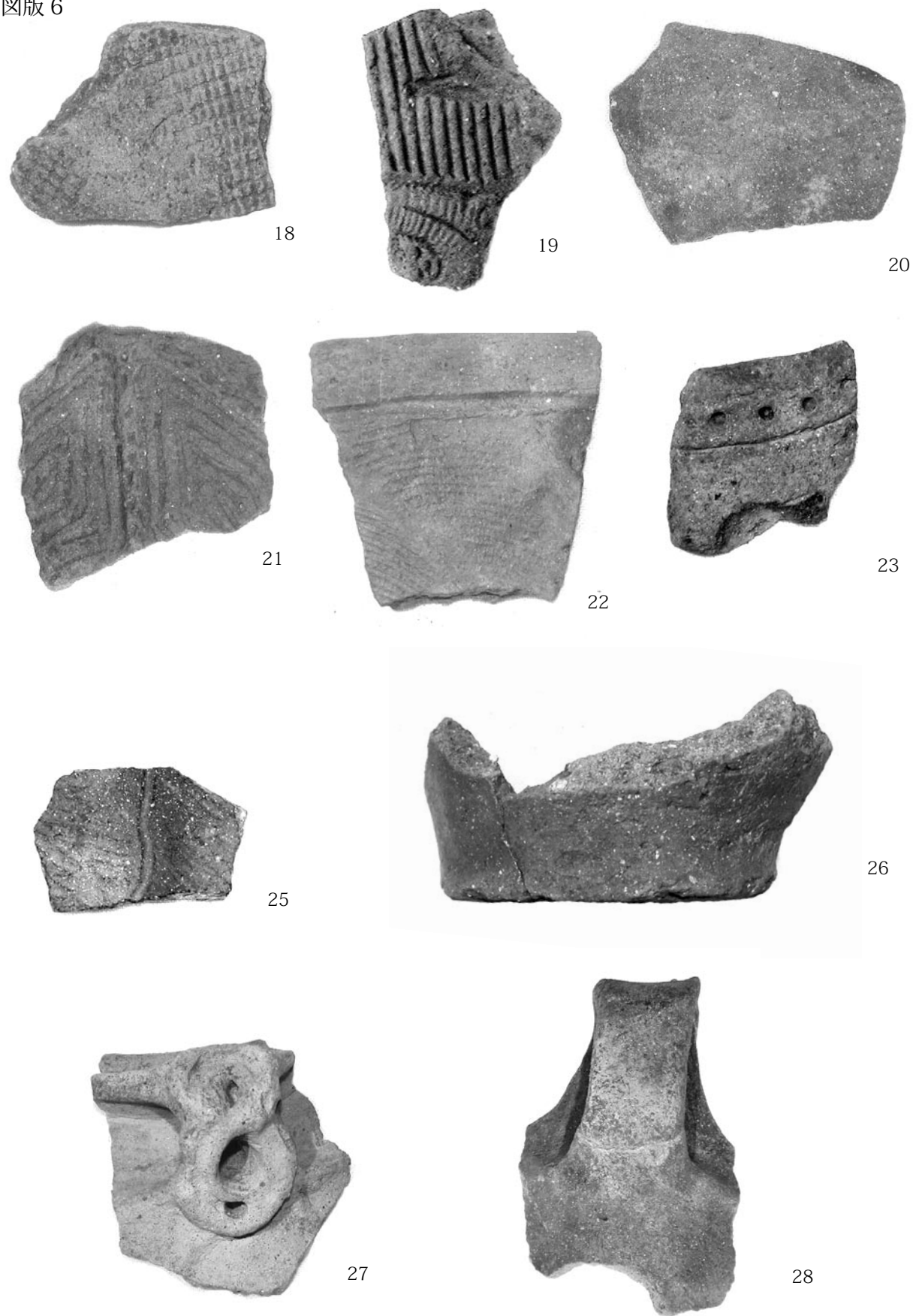
五反田（堰下西）遺跡 遺構外出土遺物

図版 5



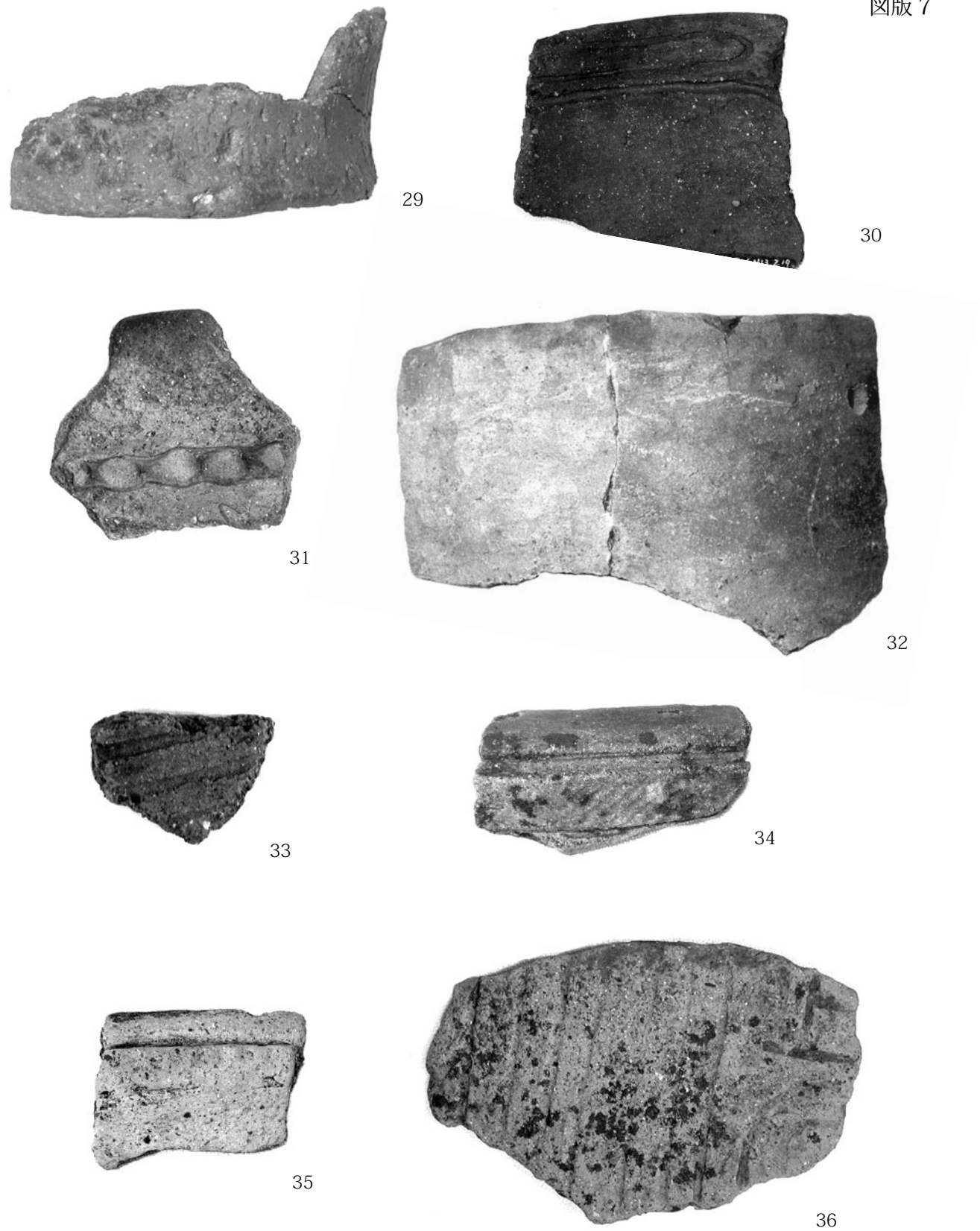
五反田（堰下西）遺跡 遺構外出土遺物

図版 6



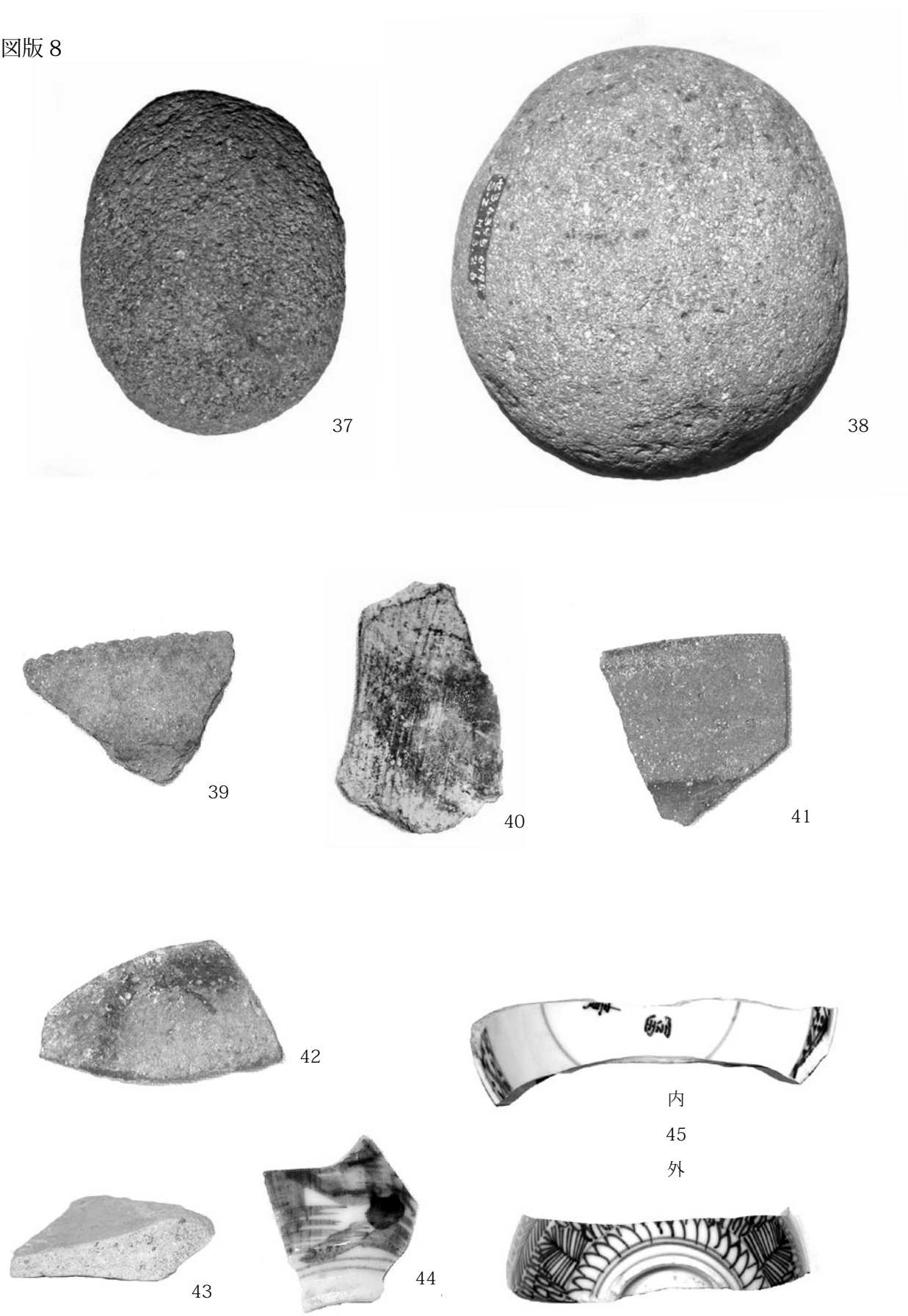
五反田（堰下西）遺跡 遺構外出土遺物

図版 7



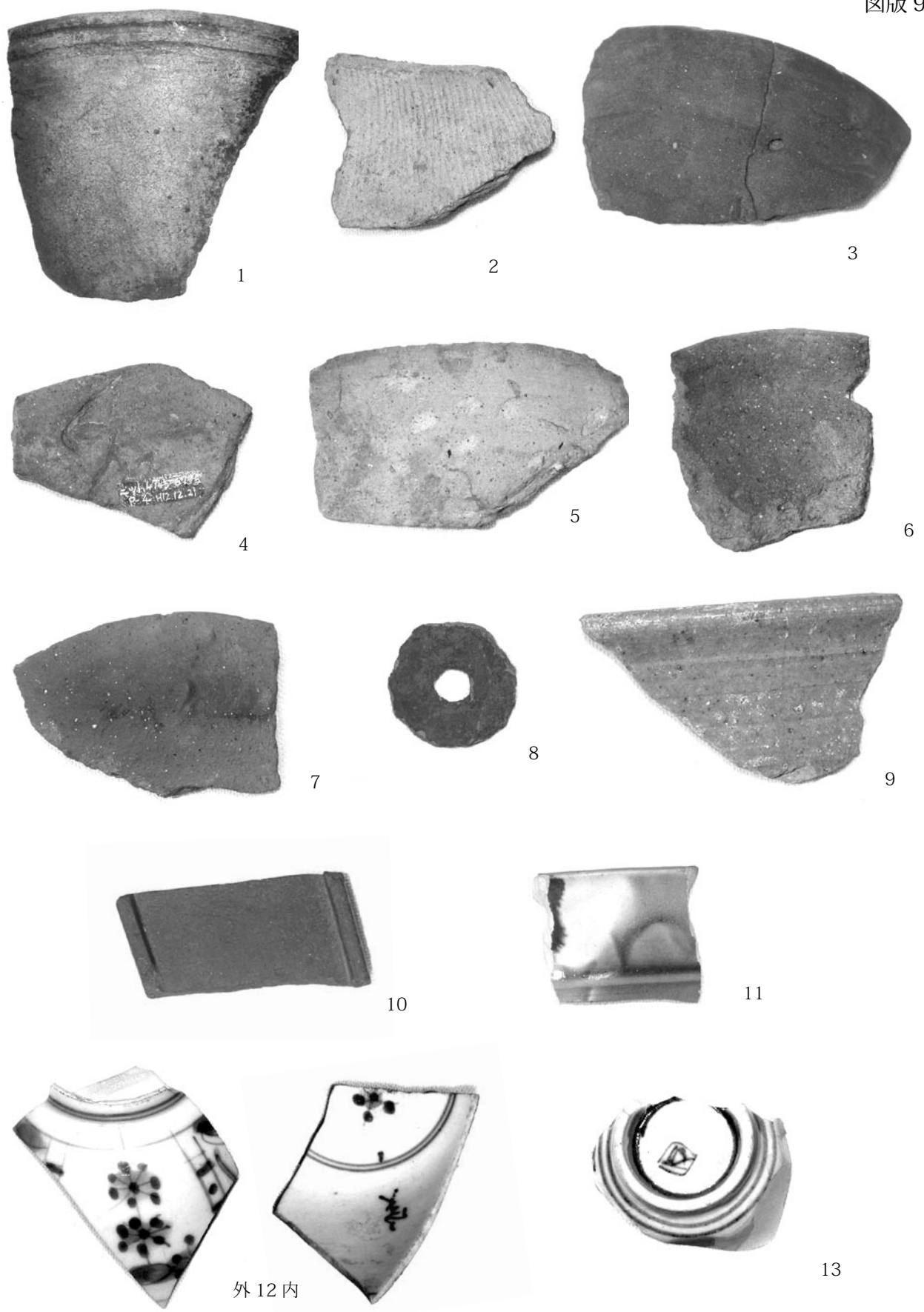
五反田（堰下西）遺跡 遺構外出土遺物

図版 8



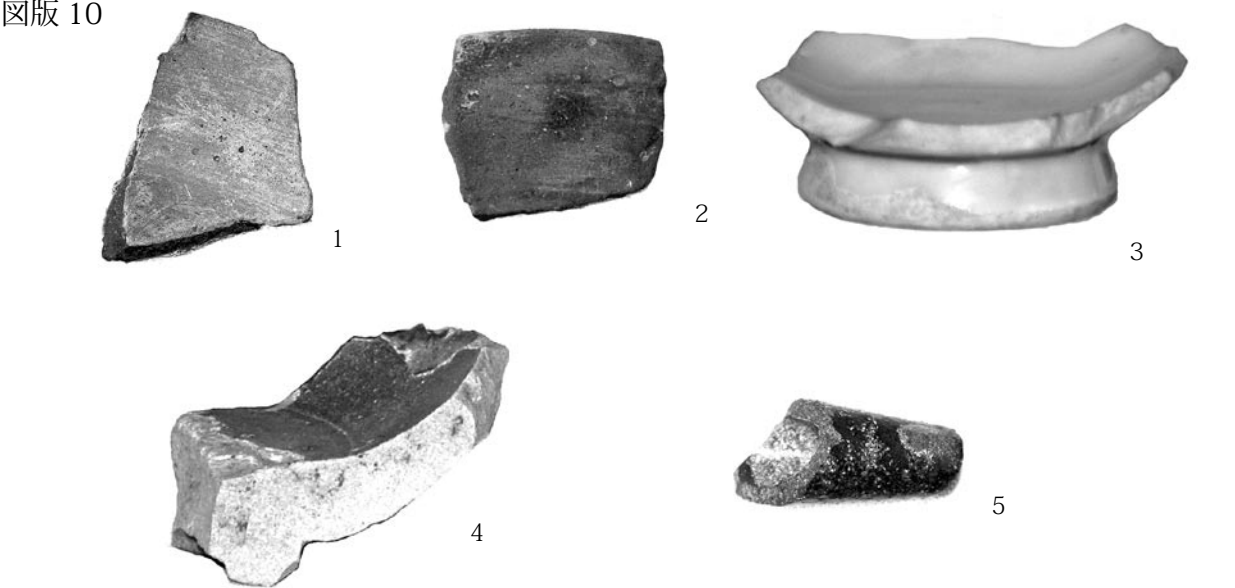
五反田（堰下西）遺跡 遺構外出土遺物

図版 9

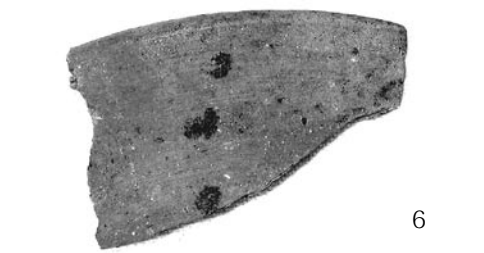


二ツ木遺跡 第 1 次出土遺物

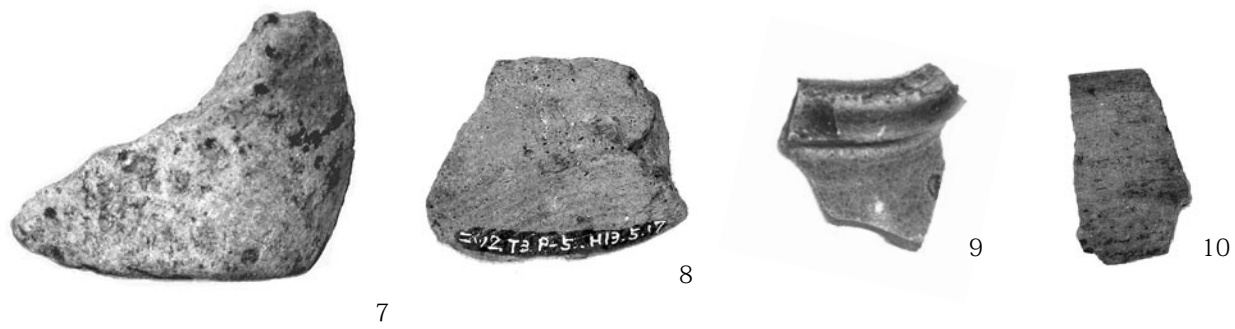
図版 10



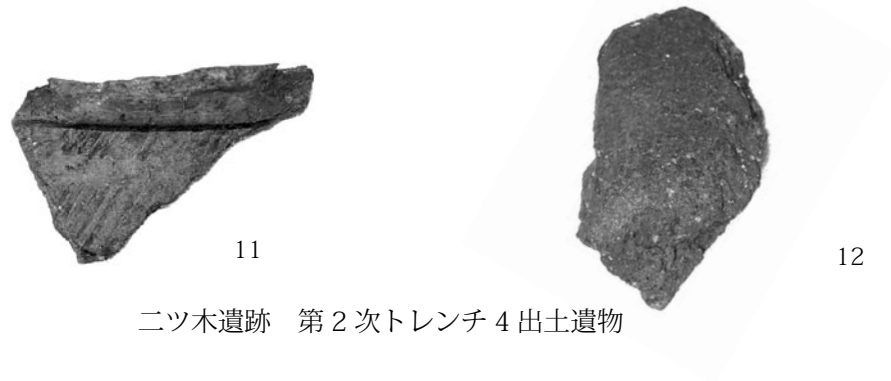
二ツ木遺跡 第2次トレンチ1出土遺物



二ツ木遺跡 第2次トレンチ2出土遺物

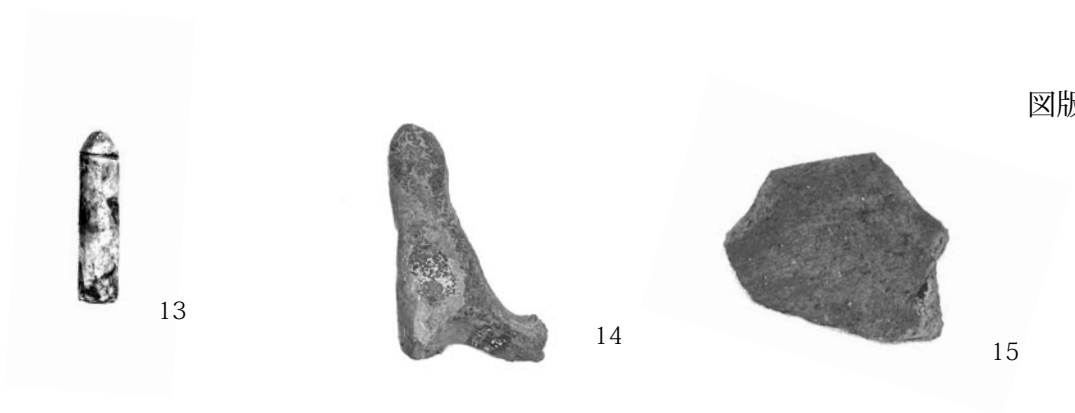


二ツ木遺跡 第2次トレンチ3出土遺物

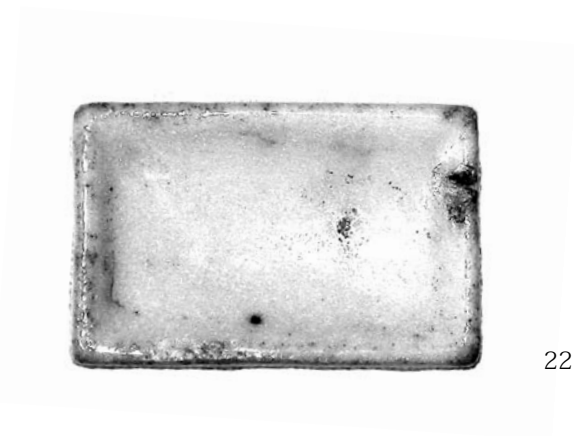
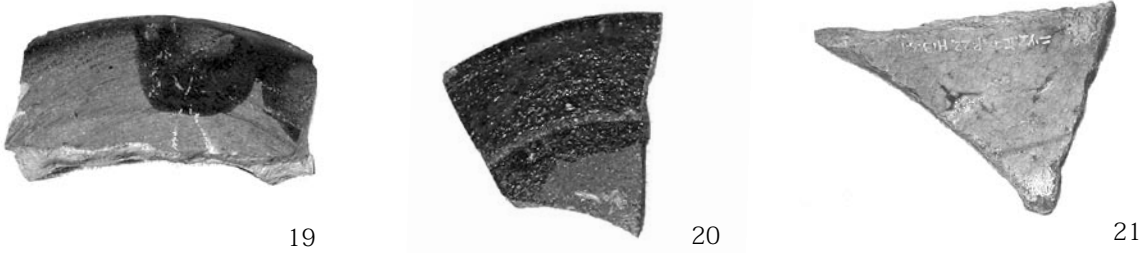


二ツ木遺跡 第2次トレンチ4出土遺物

図版 11

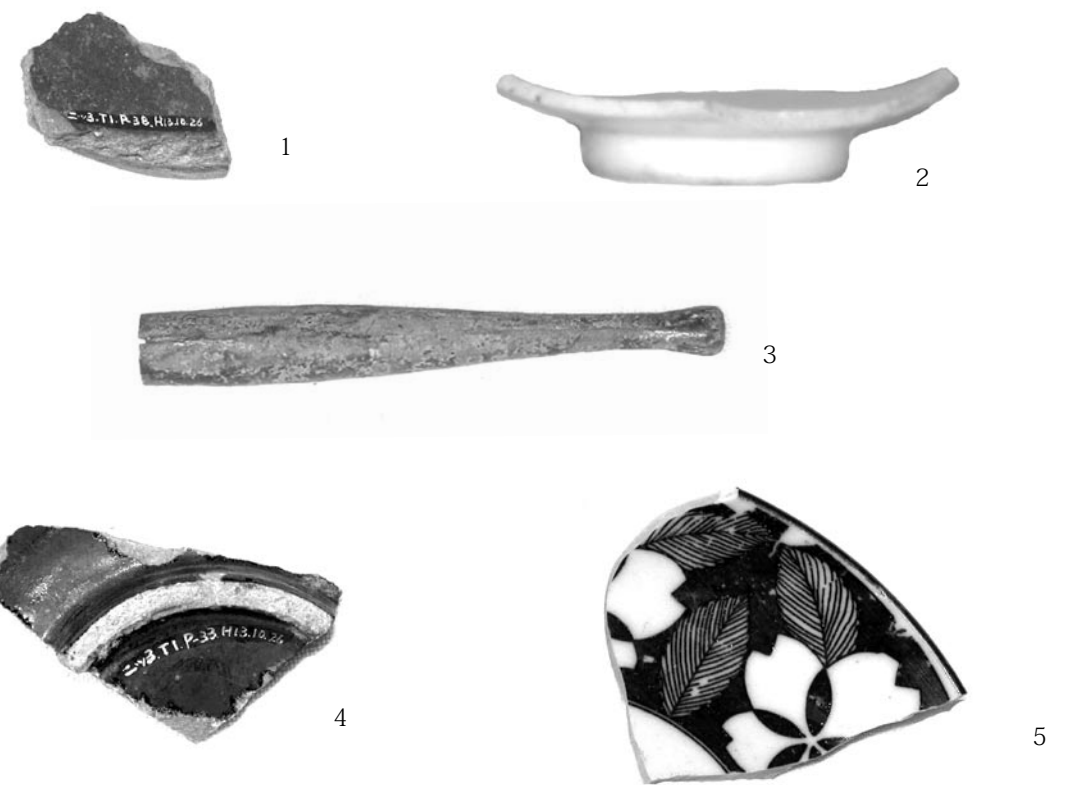


二ツ木遺跡 第2次立坑1出土遺物

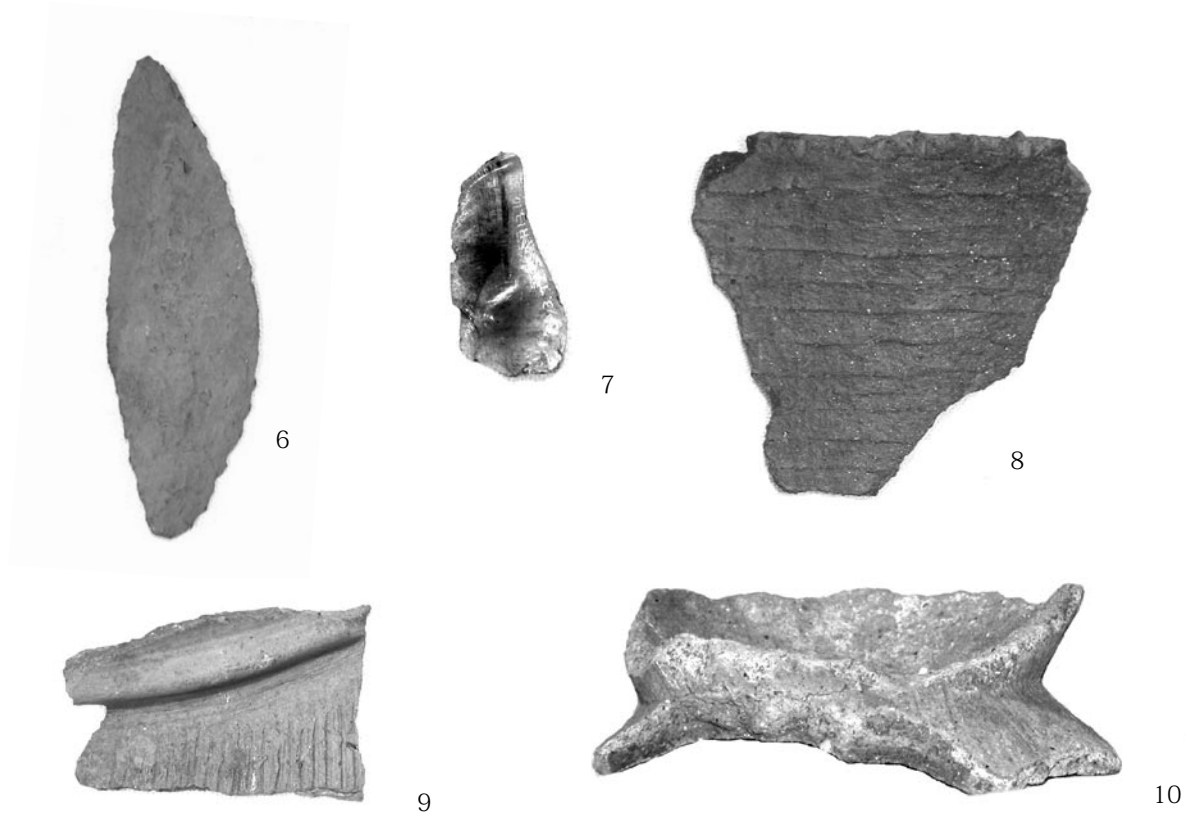


二ツ木遺跡 第2次立坑2出土遺物

図版 12

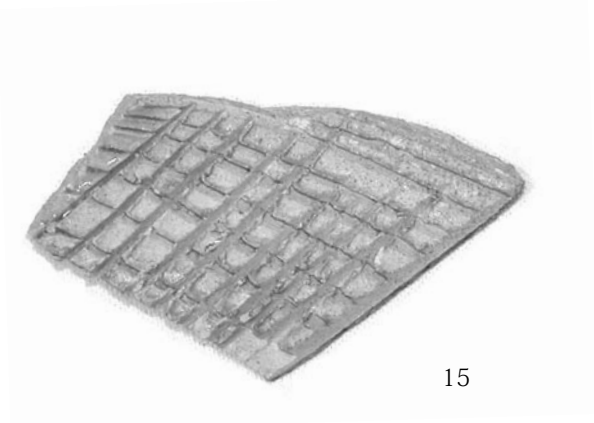
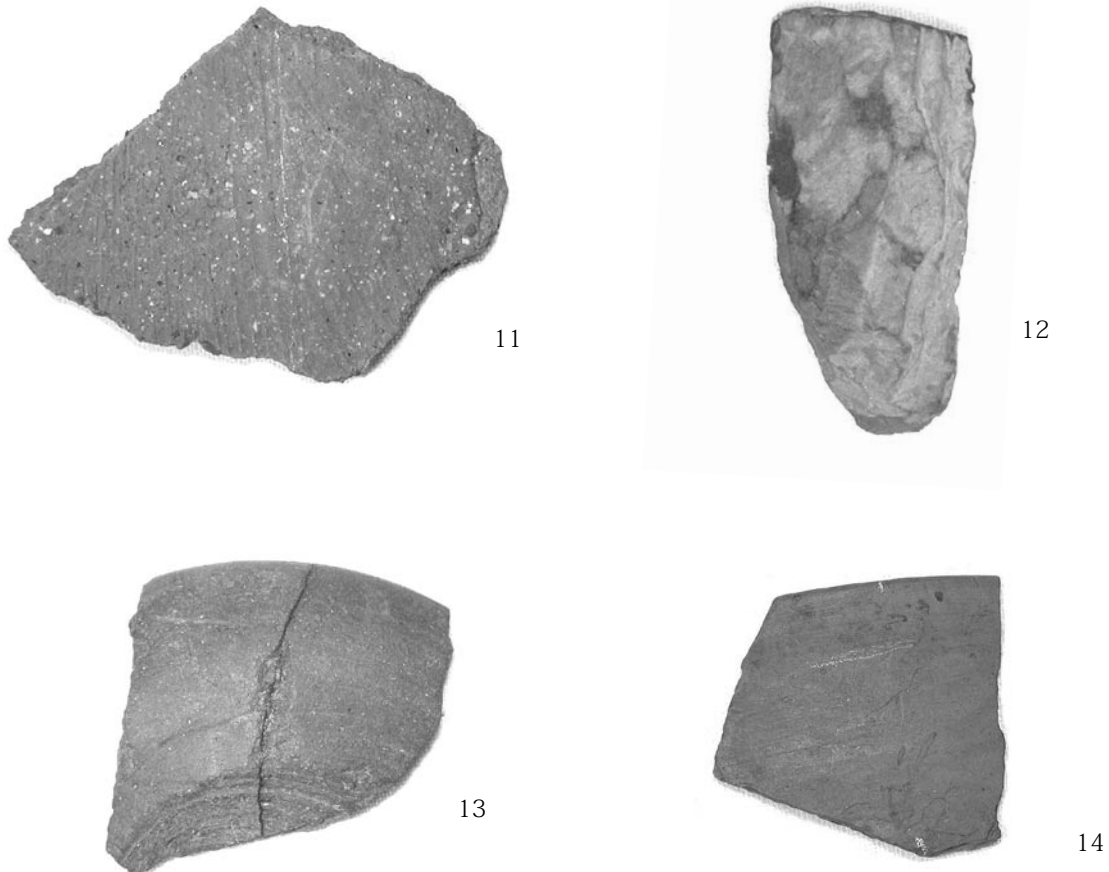


ニツ木遺跡 第3次トレンチ1出土遺物



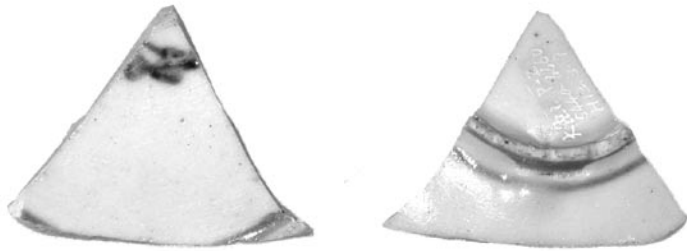
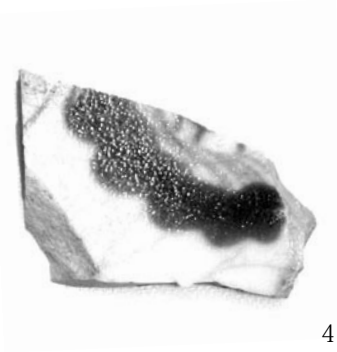
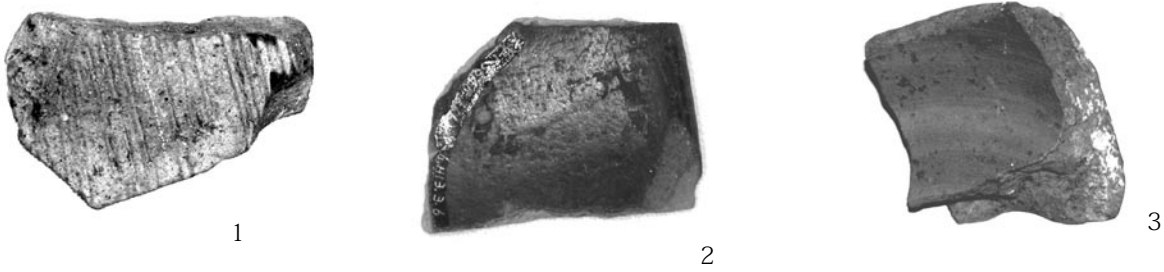
ニツ木遺跡 第3次トレンチ2出土遺物

図版 13



ニツ木遺跡 第3次トレンチ3出土遺物

图版 14

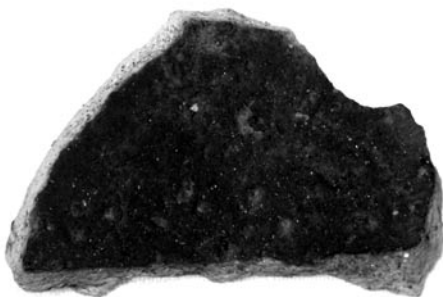


内 5 外

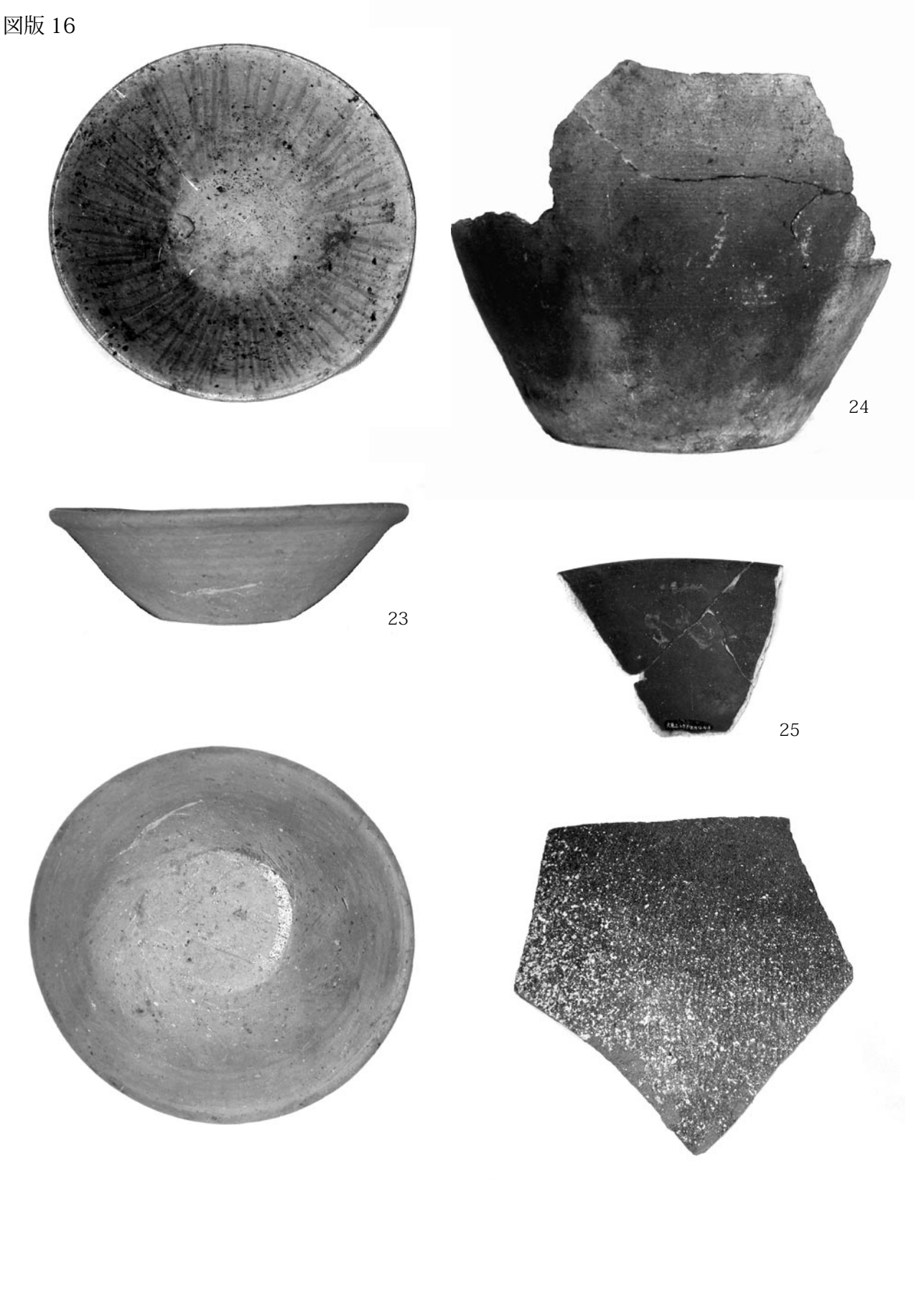


大免遺跡 出土遺物

图版 15



大免遺跡 出土遺物



大免遺跡 特殊遺構出土遺物

報告書抄録

ふりがな	ごたんだ（せぎしたにし）いせき ふたつぎいせき たいめんいせき
書 名	五反田（堰下西）遺跡、二ツ木遺跡（第 1 次・2 次・3 次）、大免遺跡
副 題	天然ガスパイプライン（甲府ライン）建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
シリーズ名	-
編著者名	山路恭之助 深沢裕三
発行者名	須玉町教育委員会 特定非営利活動法人文化資源活用協会
編集機関	須玉町教育委員会 特定非営利活動法人文化資源活用協会
所在地・電話	〒 408-0112 山梨県北巨摩郡須玉町若神子 1429 Tel. 0551-20-6111
	市町村コード 194034
調査原因	工事に伴う発掘本調査
調査機関	須玉町教育委員会 特定非営利活動法人文化資源活用協会
発 行 日	平成 14 年 10 月 31 日

ふりがな	ごたんだ（せぎしたにし）いせき
所収遺跡	五反田（堰下西）遺跡
所 在 地	山梨県北巨摩郡須玉町大豆生田 1102-1 番地ほか
位 置	東経 138° 25′ 29.3″ 北緯 35° 46′ 39.3″
調査期間	平成 13 年 1 月 12 日～平成 13 年 2 月 20 日
調査面積	300 m ²
調査原因	天然ガスパイプライン（甲府ライン）建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
主な時代	縄文時代・弥生時代・中世～近世
主な遺構	住居
主な遺物	土器・灰釉陶器

ふりがな	ふたつぎいせき
所収遺跡	二ツ木遺跡（第 1 次・2 次・3 次）
所 在 地	山梨県北巨摩郡須玉町大豆生田 793-1 番地ほか
位 置	東経 138° 25′ 30.7″ 北緯 35° 46′ 27.8″
調査期間	第 1 次平成 12 年 12 月 13 日～ 13 年 1 月 12 日 第 2 次 5 月 14 日～ 6 月 14 日 第 3 次 10 月 23 日～ 10 月 31 日
調査面積	500 m ²
調査原因	天然ガスパイプライン（甲府ライン）建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
主な時代	縄文時代・古墳時代・弥生時代・中世～近世
主な遺構	地境の石積みと石列・堰の石列・トレンチ・立坑
主な遺物	土器・土師器・施釉陶器

ふりがな	たいめんいせき
所収遺跡	大 免 遺 跡
所 在 地	山梨県北巨摩郡須玉町大豆生田 850-1 番地ほか
位 置	東経 138° 25′ 32.4″ 北緯 35° 46′ 10.7″
調査期間	平成 13 年 2 月 27 日～平成 13 年 3 月 29 日
調査面積	370 m ²
調査原因	天然ガスパイプライン（甲府ライン）建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
主な時代	縄文時代・弥生時代・平安時代・中世～近世
主な遺構	地境の石積み・暗渠
主な遺物	土器・須恵器・施釉陶器

印刷仕様

紙	質	表紙	テンカラーねずみ	215Kg
		本文	コート紙	70.5Kg
D	T	P	Macintosh Adobe	InDesingn2.0
使用	フォント		小塚明朝、小塚ゴシックを使用	
画像	原稿		モノクロ 133 線	

五反田(堰下西)遺跡
二ツ木(第1次・2次・3次)遺跡
大 免 遺 跡

帝国石油株式会社 天然ガスパイプライン（甲府ライン）建設工事に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

平成 14 年 11 月 30 日発行

編 集	須玉町教育委員会 特定非営利活動法人文化資源活用協会
発 行	須玉町教育委員会 特定非営利活動法人文化資源活用協会
印 刷	株式会社 ヨネヤ
